

2023（令和5）年度 調査研究事業

若者のキャリア観に関する調査 報告書

目次

| | |
|---|----|
| はじめに | 1 |
| 調査報告 | |
| Ⅰ 基礎データ | 2 |
| Ⅱ 就業に当たって、どのように考えていますか？ | 3 |
| Ⅲ あなたのキャリアプラン（長期人生プラン）についてお尋ねします。 | 36 |
| Ⅳ あなたのキャリア観について、どのようなことでもお書きください。（自由記述） | 45 |
| 総括 | 60 |

はじめに

広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）は2012（平成24）年4月に開館いたしました。

このセンターは家庭、地域、職場で女性も男性もすべての人が、等しく人権を尊重され、多様な個性や能力を十分に発揮できる社会を形成していくための広島市の拠点施設として、広島市民に広く利用されてきました。

この度発行いたしました報告書は、2023（令和5）年度に実施した調査研究事業「若者のキャリア観に関する調査」をまとめたものです。

開館から10年以上たった今、2012年度の調査と比較対照すると、「若者の意識はどのように変わっているのだろうか？」という課題からこの調査を始めました。

調査項目は、スーパーバイザーとの意見交換や学生の協力も得て、今日の情勢にあった設問も取り入れたものにいたしました。アンケート調査はウェブで回答できる形式をとり、広島市内の14大学・3短期大学を訪問して学生への周知協力をお願いいたしました。その結果、1,636の有効回答をいただきました。

現代の若者たちが、働くということに対してどのような意識を持っているかを、企業や地域のみなさまにお知らせすることが重要と考えております。本調査では可能な限り若者の本音を聴き、その本音に寄り添い、次代を担う若者たち自身にとってこれからの時代のあり方を考える素材になればと思い、この報告書にまとめました。本報告書が、みなさまのご活動の一助になれば幸甚です。

最後になりましたが、本調査にご尽力いただいたスーパーバイザーをはじめ関係者のみなさま、アンケートにご協力賜りました大学関係者のみなさま、関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

広島市男女共同参画推進センター

調査報告

I 基礎データ

調査目的：現代の若者（大学生）が就業に当たってどのように考えているのか、キャリアプランをどのように描いているのかなどを問い、当事者の考えや思いを、男女共同参画の視点からも捉え、課題と解決の方向をさぐる手がかりを得ることを目的として実施。

調査期間：2023年7月～11月

調査対象：広島市内14大学・3短期大学

叡啓大学、エリザベト音楽大学、県立広島大学、比治山大学、比治山大学短期大学部、広島経済大学、広島工業大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島市立大学、広島大学、広島都市学園大学、広島文化学園大学、広島文化学園短期大学、広島文教大学、安田女子大学、安田女子短期大学（五十音順）

調査方法：Google form を用いたウェブ調査

回 答：1,697（有効回答 1,636）

Table 1

| 有効回答：1,636 | | | | |
|------------|-----|-----|-------|-----|
| 性別 | 男性 | | 女性 | |
| | 516 | | 1,112 | |
| 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 198 | 395 | 860 | 183 |

※未記入等があるため合計数が異なります。

II 就業に当たって、どのように考えていますか？

1 あなたにとって働くことの意味は何ですか？〈複数回答可〉

- a. 食べていく（生きていく）ため b. お金を儲けるため c. いい暮らしをするため
 d. 家族・親のため e. 自己実現（自分の夢のため） f. 人生を楽しくするため
 g. 社会貢献のため h. 人に感謝されるため i. 特になし j. その他（具体的に ）

Figure 1

働くことの意味〈複数回答〉

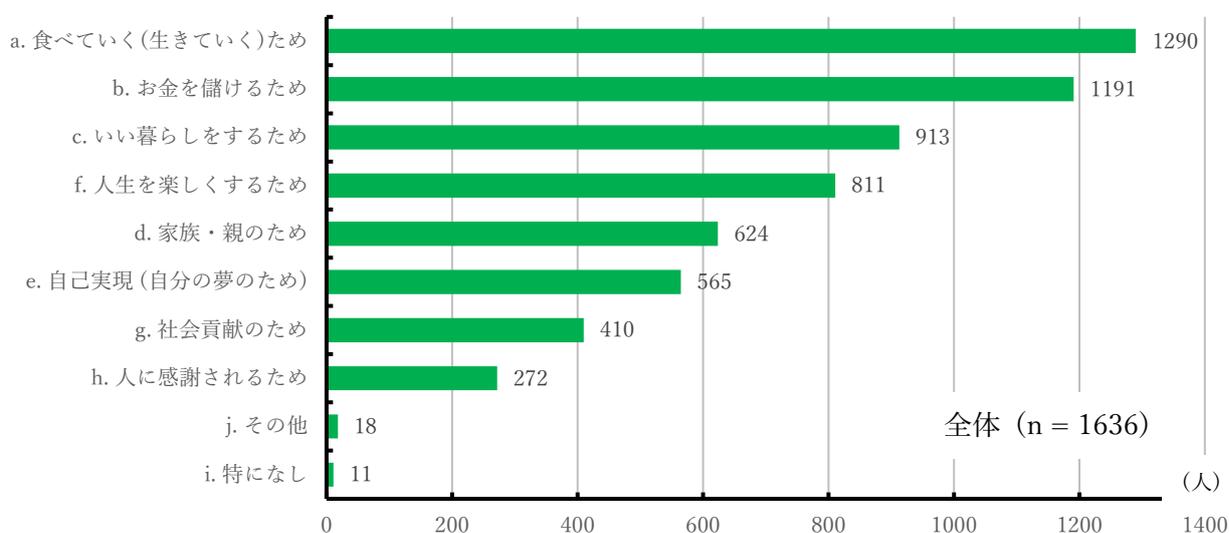
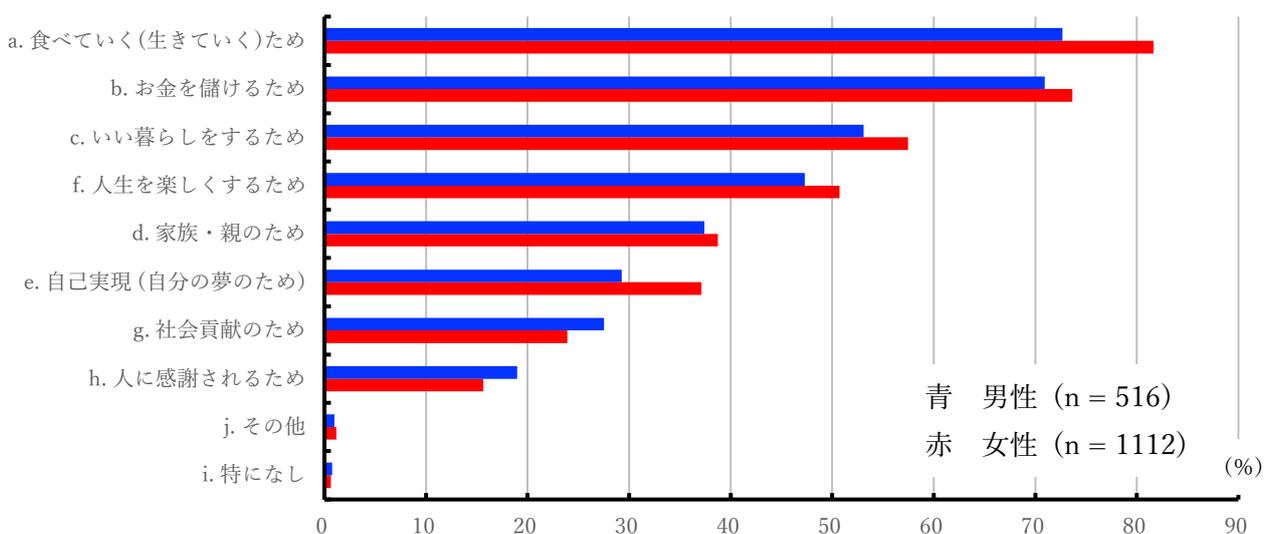


Figure 2

働くことの意味（男女別）〈複数回答〉



全体として社会貢献のための割合が少ない (Figure 1)。これは働いていくうちに育っていくものかもしれない。働くことが楽しさであり、仕事をとおして人に感謝される経験により意識も育つのではないだろうか。

男女にかかわらず、ほぼ同じような傾向が見受けられる

若干の違いの部分を見ると、男子より女子の方が自分自身に関することが多く、社会貢献や他人からの感謝などは男性のほうが割合が多いようだ (Figure 2)。

j. その他 (具体的に) の記述内容

●男性

・趣味のためのお金稼ぎ ・達成感 ・地域発展に貢献するため ・ゲームをするため

●女性

・お世話になった人、団体、地域への恩返し ・人のために生きるという手段 ・働くことが義務付けられてるから、働かない人間に対する世間の目が冷たいから ・奨学金返還のため ・自分のため
・自分のお金をかけたいところにお金をかけるため ・趣味など好きなことに使うお金を稼ぐため
・得られたお金で趣味を充実させるため ・好きなことにお金を使いたいため ・好きなものを購入するため ・推しのため

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

2012年の調査では、数の多い順に、a. 食べていく(生きていく)ため b. お金を儲けるため f. 人生を楽しくするため d. 家族・親のため c. いい暮らしをするため となっていたが、2023年の調査では、a. 食べていく(生きていく)ため b. お金を儲けるため c. いい暮らしをするため となり、「いい暮らしをするため」の順位が上がっている。その他は同様の結果となっている。

2 就職希望度<どれか1つを選択>

- なにがなんでも就職したい (希望しない就職先であったとしても、他に就職先が見つからなければ就職する)
- 希望する就職先・職種でなければ就職したくない
- その他 (例: 就職は考えていない、家業を継ぐことが決まっている等) (具体的に)

Figure 3

就職希望度 (全体 n = 1636) <1つを選択>

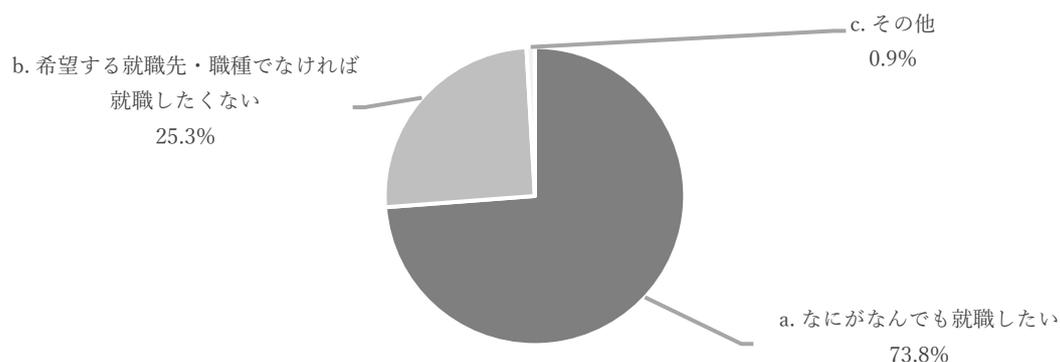


Figure 4

就職希望度 (男性 n = 516) <1つを選択>

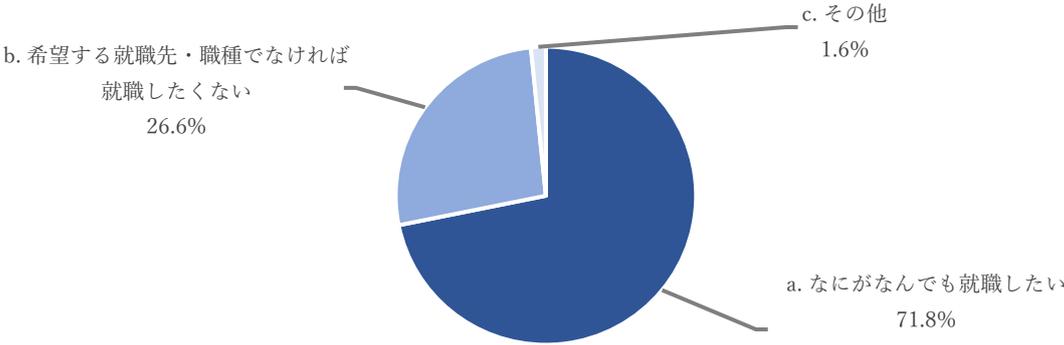
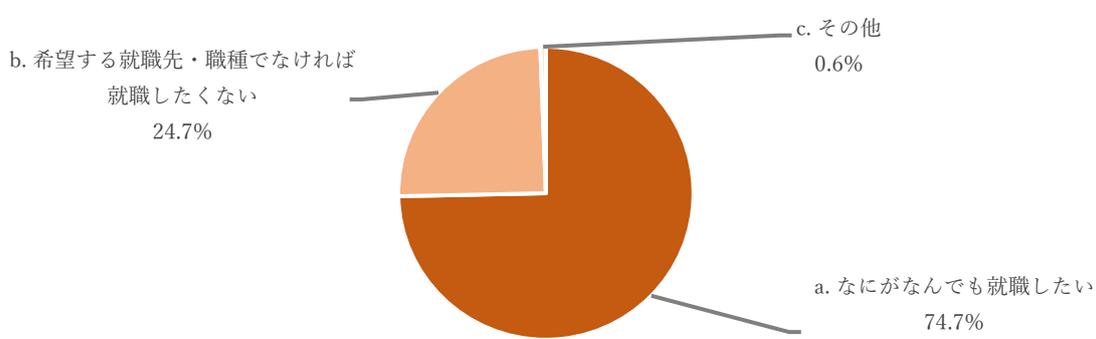


Figure 5

就職希望度 (女性 n = 1112) <1つを選択>



『なにがなんでも就職したい』が73.8%、『希望する就職先・職種でなければ就職しない』25.3%であった (Figure 3)。全体の3/4 がなにがなんでも就職したいと思っている。この傾向は、男女別で違いはみられない (Figure 4, 5)。

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

2012年の調査では、『なにがなんでも就職したい』が75%、『希望する就職先・職種でなければ就職しない』23%であり、この傾向は、男女別で違いはみられない。となっていたが、2023年の調査でも、同様の結果となっている。

3 どのような業種に就職したいですか？ (複数回答可)

- a. メーカー (食品・鉄鋼金属・建設・住宅・インテリア・繊維・紙・化学・医薬品・ガラス・石油・医薬品・化粧品・機械・電気電子・OA事務機器・家電・精密機器・自動車・その他)
- b. 商社 (総合商社、専門商社、その他卸売業)
- c. 金融・証券・保険 (銀行・証券・リース・クレジット・信販・消費者金融・保険など)
- d. マスコミ・出版 (放送・広告・出版・新聞・印刷)
- e. 情報・インターネット (ソフトウェア・情報処理・通信・インターネット・ゲームソフト)

- f. コンサルタント（コンサルタント・シンクタンクなど）
- g. 流通（専門店・量販店・百貨店・スーパー・コンビニ・その他小売業）
- h. サービス（不動産・ホテル・レジャー・旅行・外食・医療・環境・介護・教育・人材・運輸）
- i. 公的機関（学校・官公庁・自治体・公共団体など）
- j. 農林水産業
- k. その他（具体的に

Figure 6

就職したい業種（全体 n = 1636）〈複数回答〉

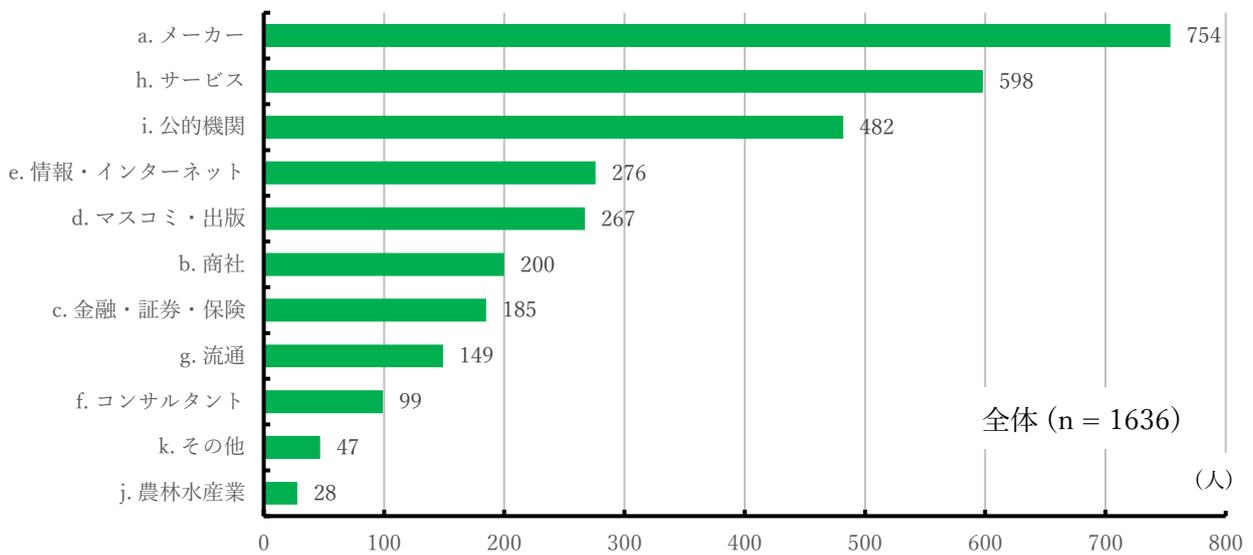
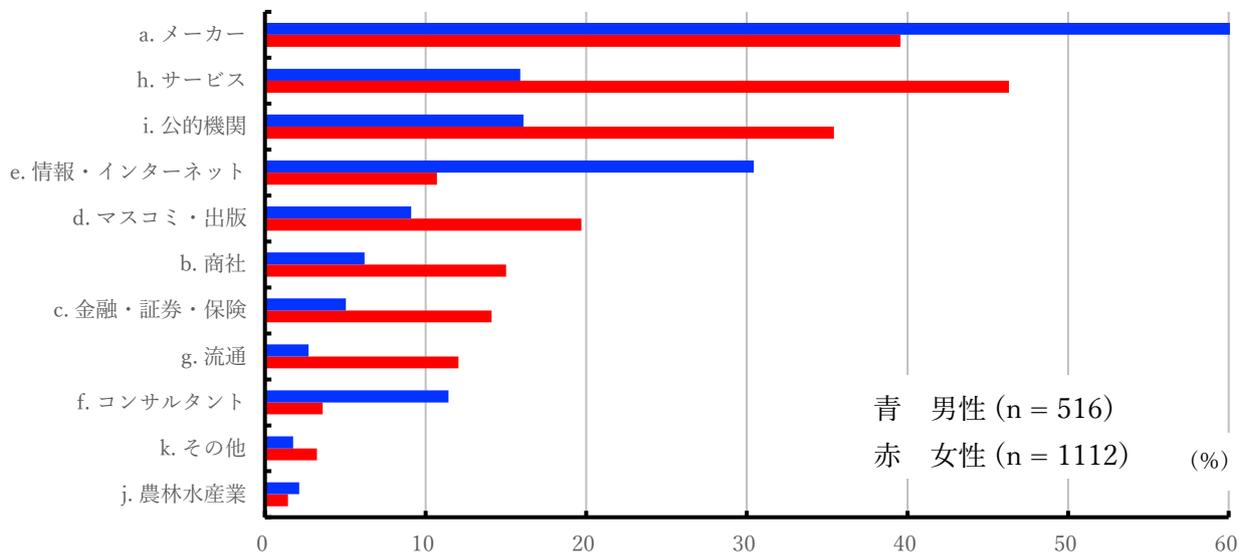


Figure 7

就職したい業種（男女別）〈複数回答〉



当然ではあるが男女でかなり差がある (Figure 7)。

男性の1位はメーカー、2位は情報・インターネットであるが、女性の1位はサービス、2位はメーカーである。また、男女ともに就職したい業種の第3位に「公的機関」が入ってきており、2012年に行われた同様の調査よりも希望する学生が大幅に増えている。一般的に公的機関を目指す学生は、社会的責任感や、公共サービスへの熱意、協調性が高いことが知られているが、そうした特徴を持つ学生が増えただけでなく、近年の傾向としての安定性と福利厚生への関心の高さが、希望する学生を増加させた要因と思われる。

男女別をみると、女子学生がサービス業を選択している割合が高く、公的機関、商社、金融、流通などの割合も高かった。このことは、今回の質問紙調査に協力した女子学生の多くは、文系の学部偏っていたために、このような割合になったことが考えられる。

k. その他 (具体的に) の記述内容

●男性

- ・インフラ ・ゼネコン ・アスリート(Bリーガー) ・ストレンクス&コンディショニングコーチ
- ・自営業 ・お酒を扱えるなら何でもいい ・電力関係 ・未定・不明

●女性

- ・NGO、ボランティア機関など ・インフラ ・クリエイターとして働く ・スポーツクラブ ・ビルメンテナンス業 ・会計事務など ・学校事務 ・学術系 ・公認心理師 ・心理専門職 ・心理学を活用できる場所 ・専門職 ・美容 ・福祉関係 ・スポーツ関係、フォトスタジオなど ・医療事務
- ・栄養士 ・専門サービス業 ・美術関係 ・保育園 ・永遠同じ作業をする仕事 ・未定・不明
- その他 ・研究職 ・博物館学芸員として働く

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

2012年の調査では、数の多い順に、h. サービス a. メーカー d. マスコミ g. 流通 i. 公的機関 c. 金融・証券 b. 商社 e. 情報・インターネット f. コンサルタント k. その他 j. 農林水産業 となっていたが、2023年の調査では、i. 公的機関 e. 情報・インターネット が上位に入っており、時代の変化がうかがえる

4 希望する職種は何ですか？〈複数回答可〉

- 経営企画・調査 (ビジネスコンサルタント・商品企画・調査研究・マーケティングなど)
- ソフトウェアエンジニア (システムエンジニア・プログラマ・ゲームクリエイターなど)
- エンジニア・研究開発 (機械・電気・電子機器設計・基礎研究・生産・製造技術開発、生産・品質管理・検査など)
- 建築設計・施工管理 (建設土木設計・調査・測量・積算・施工管理など)
- 事務系 (財務・会計・経理・法務・総務・人事・広報・宣伝・貿易事務・営業事務・バイヤー・店舗運営・一般事務・金融業務・総合職・営業・ツアープランナーなど)
- 営業 (営業・セールス・営業企画・営業推進・販売促進・セールスエンジニア・MR など)
- クリエイティブ職 (Web プロデューサー・編集・制作・デザイナー・ライターなど)
- 専門職 (医師・医療関連専門職・栄養士・教師・美容理容師・薬剤師・保育士・介護士・弁護士など)

- i. 販売（流通・ショップスタッフ・接客など）
- j. 農林水産業
- k. サービス職（不動産・ホテル・レストラン・ブライダル・旅行・運輸など）
- l. 公務員・団体職員など
- m. その他（具体的に

Figure 8

希望する業種（全体 n = 1636）〈複数回答〉

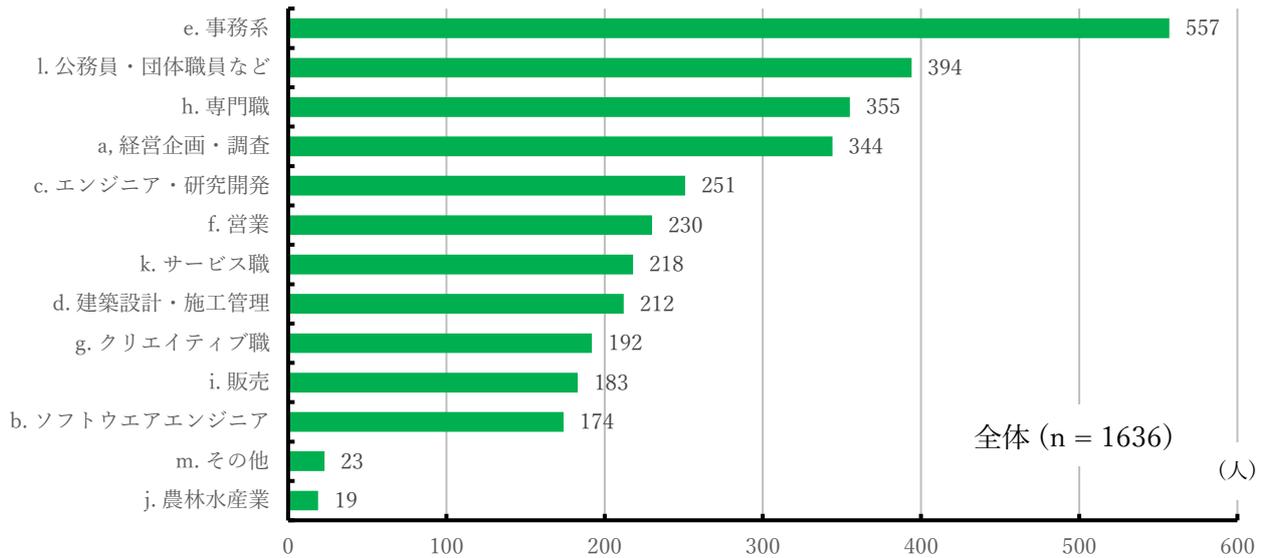
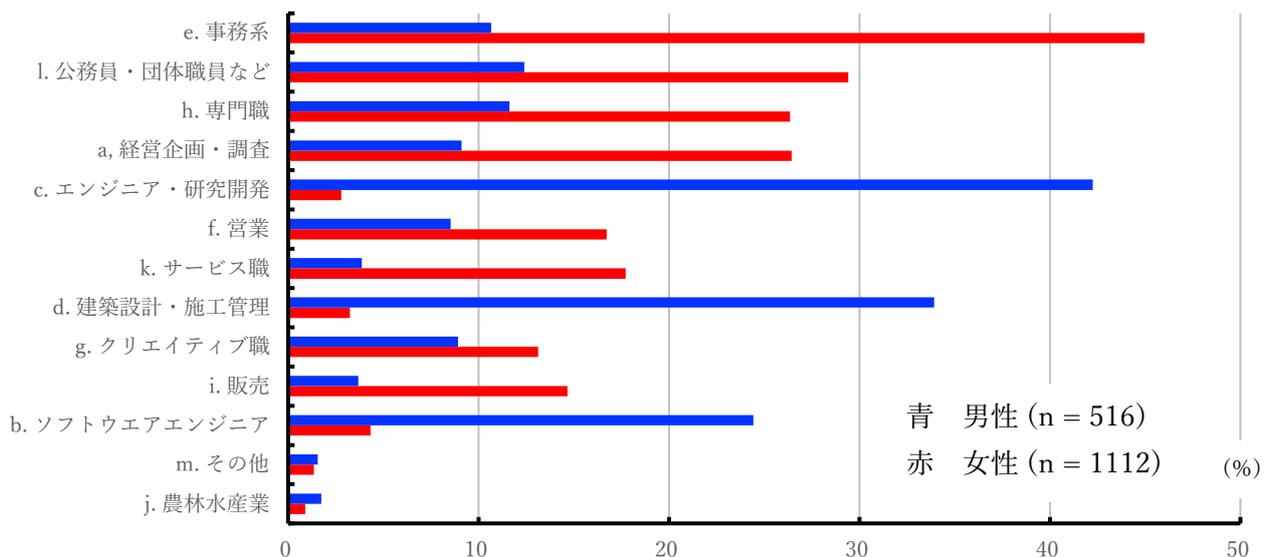


Figure 9

希望する業種（男女別）〈複数回答〉



職種で見ると、事務系が最も多く (Figure 8)、特に女子学生に多い (Figure 9)。

男女の選択職種の違いは、業種にもみられるが、固定的な役割分担意識の影響を受けないよう男女にかかわらず自分の特性を知って幅広い選択肢の中から選べるとよい。

男性は、エンジニア・研究開発、建築設計・施工管理、ソフトウェアエンジニアを希望する割合が

高く、事務系、公務員、経営企画、サービス業、販売などは女性で希望する割合が多かった。
 営業を女子が多く選んでいるのが前回の調査と異なる点である。

m. その他（具体的に）の記述内容

●男性

- ・アスリート(Bリーガー) ・アーティスト・タレント ・研究職 ・施設職員 ・鉄道 鉄道保線
- ・未定・不明

●女性

- ・学者 ・国連などの機関 ・図書館員 ・カウンセラー ・心理学を生かせる仕事 ・心理職
- ・動き回る仕事(事務以外) ・保育園栄養士 ・未定・不明

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

2012年の調査では、数の多い順に、e. 事務系 k サービス職 h 専門職 i 販売 a 経営企画・調査 f 営業 g クリエイティブ l その他 d 建築設計・施工管理 b ソフトウエアエンジニア c エンジニア・研究開発 j 農林水産業となっていたが、2023年の調査では、l. 公務員 b. エンジニア・研究開発 が上がって、i. 販売 k. サービス職 j. 農林水産業 の割合が落ちている。

5 希望する雇用形態について〈どれか1つを選択〉

- a. 正規雇用以外は考えていない
- b. 正規雇用以外を希望する
- c. 正規雇用を希望するが、無理なら非正規雇用でもかまわない
- d. 紹介予定派遣や正社員登用制度で、将来的に正規雇用をめざす
- e. 雇用形態にはこだわらない
- f. 雇用されるのではなく、起業・独立をめざす
- g その他（具体的に

Figure 10

希望する雇用形態（全体）〈1つを選択〉

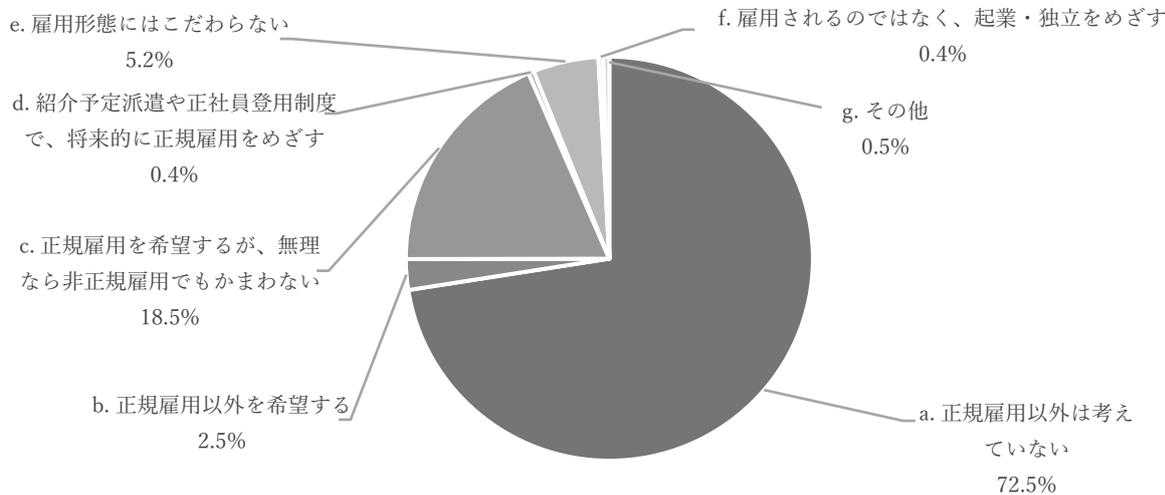


Figure 11

希望する雇用形態（男性）〈1つを選択〉

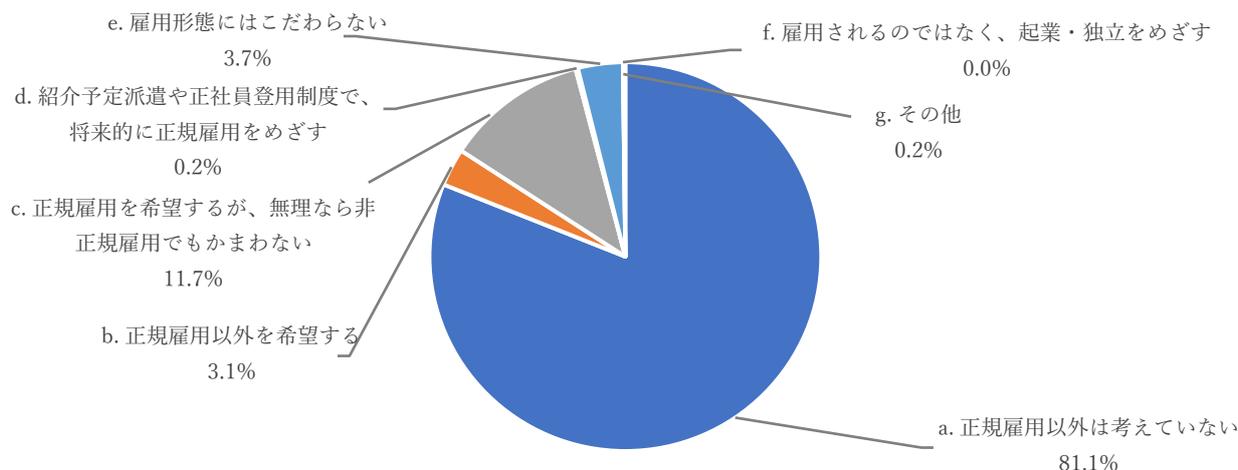
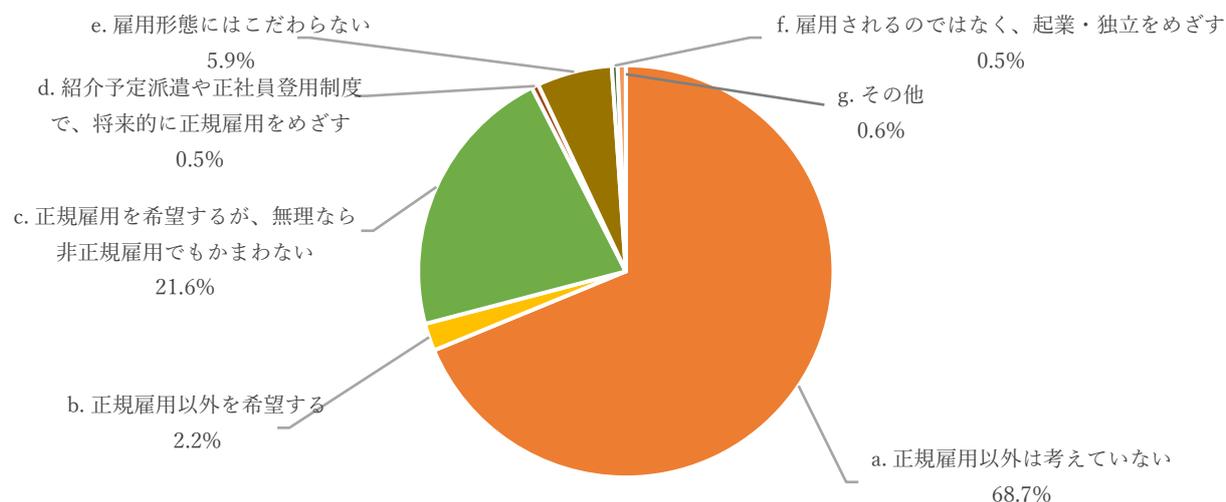


Figure 12

希望する雇用形態（女性）〈1つを選択〉



雇用形態について、正規雇用をめざす学生が72.5%である一方、無理なら非正規と答えた割合は、18.5%である (Figure 10)。

男女別では、男性の方が正規雇用志向が高く (Figure 11, 81.1%)、女性では、非正規雇用でも構わない (Figure 12, 21.6%)とする学生が多いことがわかった。就職する前からしかたないとあきらめる気持ちが女子学生にあることがうかがえる。ちなみに男子も11.7%いる。

性別と希望する雇用形態に関連があるかを検討するため、カイ二乗検定を行ったところ、両者の間に有意な関連が見られた ($\chi^2(12, N=1630)=68.525, p<.001$)。残差分析の結果、女性は「正規雇用を希望するが、無理なら非正規雇用でもかまわない」 ($p<.001$)の得点が、男性は「正規雇用以外は考えていない」 ($p<.001$)の得点が有意に高かった。

g. その他（具体的に）の記述内容

- 男性
- ・未定・不明

●女性

・教員採用試験に不採用の場合、今のアルバイト先で働きながら試験を受ける ・体調に合わせて非正規雇用でもやむを得ないと考えている ・不明・未定

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

2012年の調査では、正規雇用以外は考えていない割合が67%だったのに対して、2023年では72.5%となっており、正規雇用の志向が高まっている。また、無理なら非正規雇用でもかまわない割合が21%から、18.5%と減少しており、無理してでも正規雇用を目指している人が増えたことが分かる。

6 就職先を選ぶ基準は何ですか？〈複数回答可〉

- a. 業種・職種 b. 地元企業 c. 自由度が高く創意工夫できる d. 給与が高い
- e. 将来性・安定性がある f. 転勤がない g. 経営状態がよい h. 知名度が高い
- i. 社風、雰囲気が良い j. 従業員同士のコミュニケーションが良く取れている
- k. 土日祝が休み l. 残業がない・少ない m. 自分が成長できる・スキルが身につく
- n. グローバルな展開がある o. 男女格差がない p. 育児や介護との両立がしやすい
- q. 再雇用制度がある r. 休暇を取りやすい雰囲気がある s. 社会に貢献している
- t. 親や周囲の人の評価が高い u. 離職率が低い v. 働きがいがある
- w. 福利厚生（休暇制度、住宅手当等）が充実している x. 個性や能力を發揮できる
- y. その他（具体的に

Figure 13

就職先を選ぶ基準（全体 n = 1636）〈複数回答〉

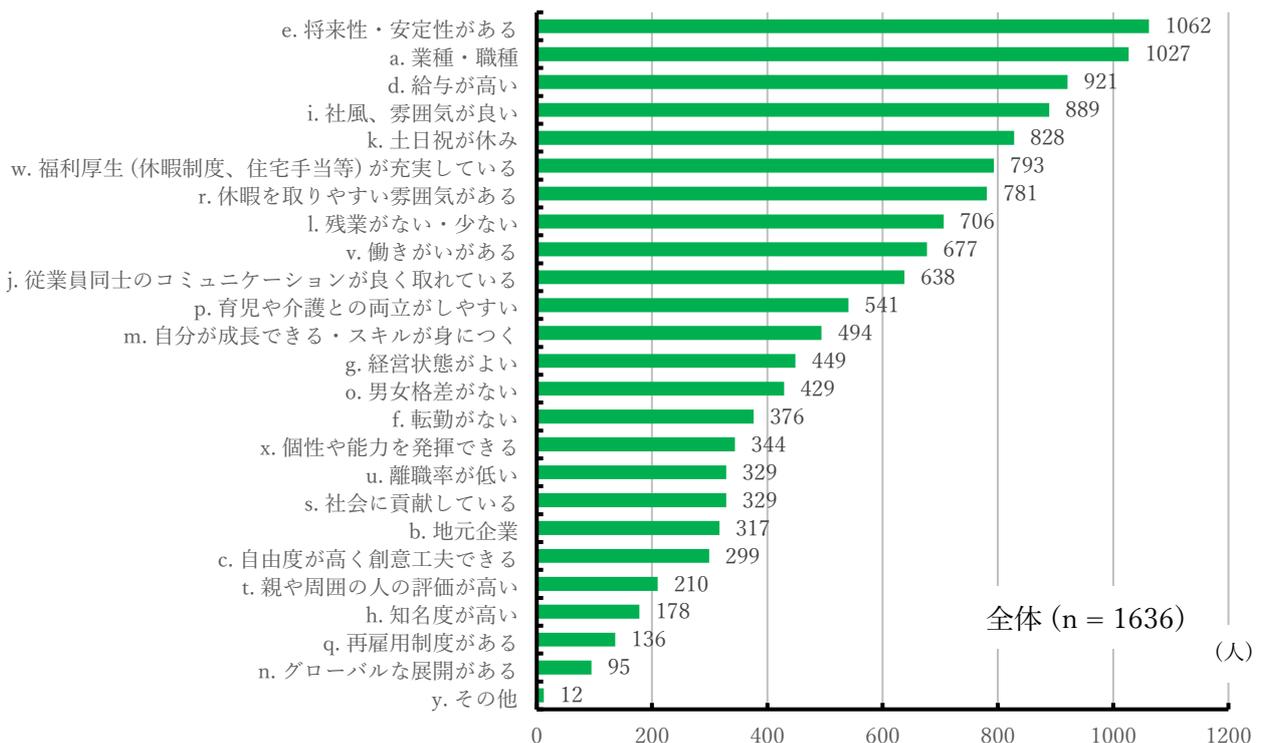
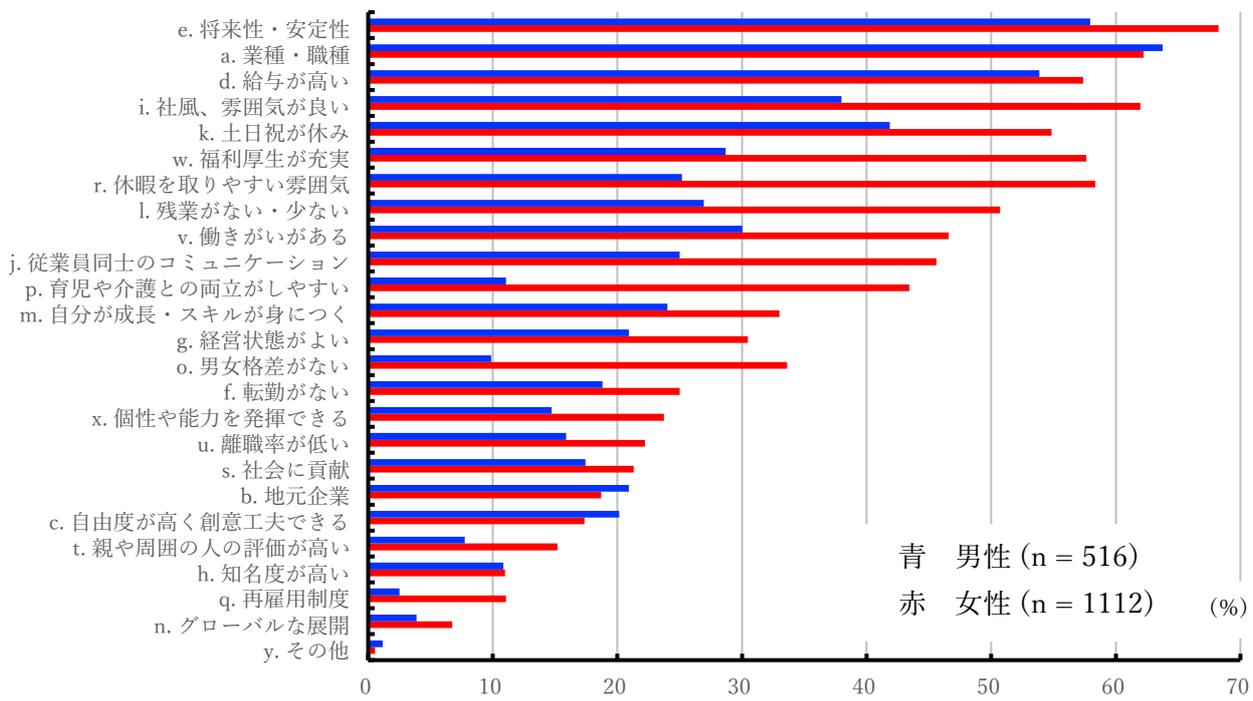


Figure 14

就職先を選ぶ基準（男女別）〈複数回答〉



就職先を選ぶ基準では、職種よりも、安定性が上位に入っている。また、社風や雰囲気の良さ、休暇を取りやすい雰囲気など、一般的な就職活動における企業情報からは掴みにくい要素を重視していることが読み取れる (Figure 13)。

また男女でも選択している項目に違いがみられ、男子より女子に顕著に多く見られた項目は、社風雰囲気が良い、育児介護との両立ができる、休暇をとりやすい、福利厚生が充実している、男女格差がないであった (Figure 14)。

y. その他 (具体的に) の記述内容

- 男性
 - ・コロナなどにも気をつけている
 - ・勤務先付近の環境
 - ・自分が住みたい土地にあるかどうか
 - ・趣味に時間を使える
 - ・通勤手段
 - ・鬱でも雇ってくれる
- 女性
 - ・家から近い
 - ・教育制度の充実
 - ・仕事内容
 - ・自分がワクワクするかどうか
 - ・人材育成の目標が、自身が目指す姿と一致している。
 - ・東京勤務

【2012年との比較】H24_若者世代の就業に関する意識調査

将来性・安定性、給与、福利厚生が2012に比べて順位があがっており、経済的な観念から就職先を選んでいる学生が多くなっていることが見て取れる。

男女の選ぶ基準の違いが大きいことが、時代によるものなのか、回答者の偏りによるものなのか不明だが、興味深い結果となっている。

7 あなたは、就職先でどのようなことを望みますか？

(4：強く望む 3：望む 2：やや望む 1：あまり望まない)

- a. 専門能力が育成され発揮できる
- b. 総合的管理的な仕事に就く訓練
- c. 安定した堅実な就労の継続
- d. 創造性やチャレンジ精神の奨励
- e. 社会への貢献の体験
- f. 追い立てられずマイペースが可能
- g. 個人や家族の要望との両立が可能
- h. 困難でも挑戦する力が認められる
- i. 広島を拠点にした就労が可能

Figure 15

就職先で望むこと（全体での割合％）

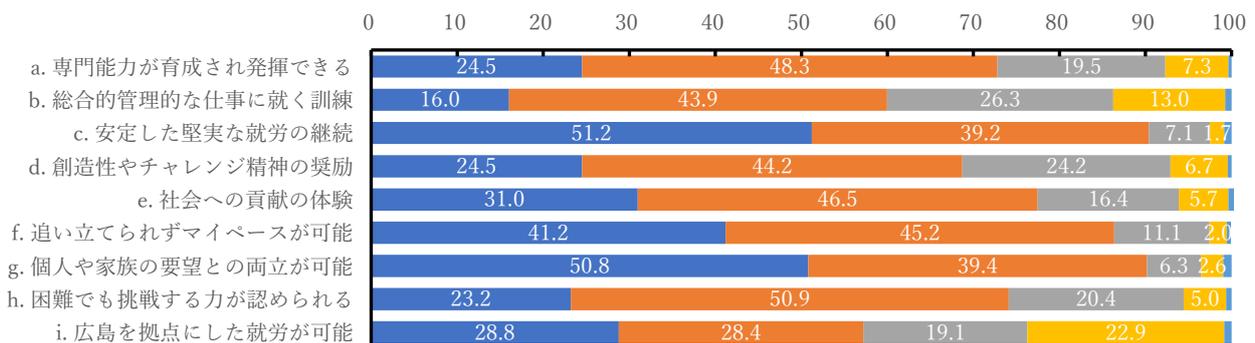
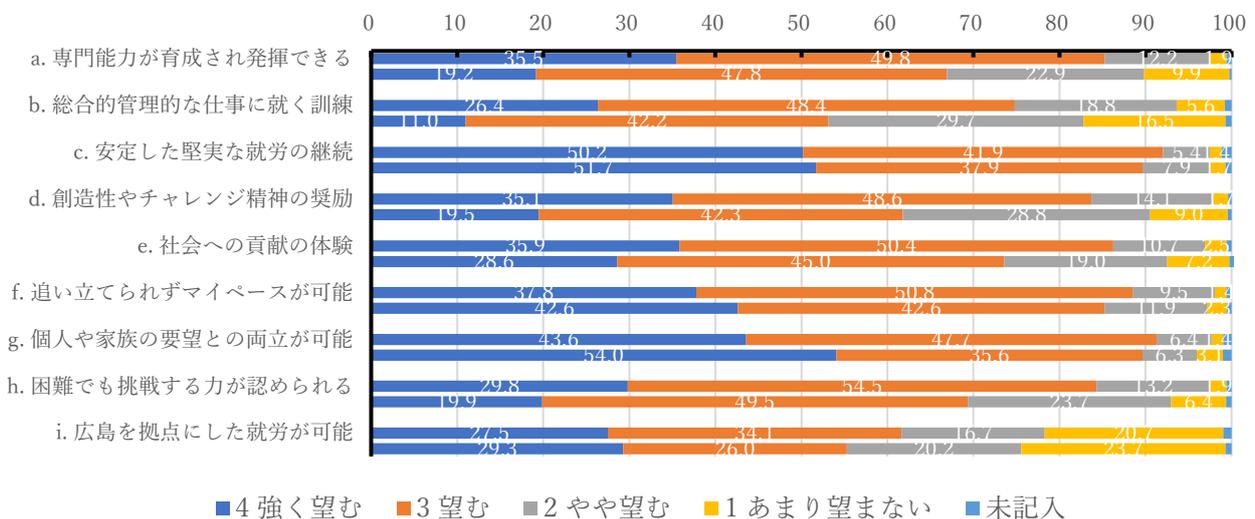


Figure 16

就職先で望むこと（男女別％：上段 男性, 下段 女性）



■ 4 強く望む ■ 3 望む ■ 2 やや望む ■ 1 あまり望まない ■ 未記入

a. 専門能力が育成され発揮できる

「強く望む」「望む」の割合が70%を超えており、比較的望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「強く望む」が、女性は「あまり望まない」「やや望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男性の方が、専門能力を発揮できることを望んでいることがわかった。

b. 総合的管理的な仕事に就く訓練

「強く望む」「望む」の割合が60%を超えており、望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「強く望む」「望む」が、女性は「あまり望まない」「やや望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男性の方が、総合的管理的な仕事に就くことを望んでいるといえる。

c. 安定した堅実な就労の継続

「強く望む」「望む」の割合が90%を超えており、かなり強く望まれている項目である (Figure 15)。

男女差を見たところ、有意差は見られなかった ($p = .084$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男女ともに、安定して堅実な就労を強く望んでいることがわかった。

d. 創造性やチャレンジ精神の奨励

「強く望む」「望む」の割合が60%を超えており、望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「強く望む」「望む」が、女性は「あまり望まない」「やや望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

創造性やチャレンジ精神においては、女性の方が保守的な考え方が強いと言える。

e. 社会への貢献の体験

「強く望む」「望む」の割合が70%を超えており、比較的望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「強く望む」「望む」が、女性は「あまり望まない」「やや望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男性の方が、社会貢献できることを望んでいると考えられる。

f. 追い立てられずマイペースが可能

「強く望む」「望む」の割合が80%を超えており、強く望まれている項目である (Figure 15)。

男女差を見たところ、有意差は見られなかった ($p = .051$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男女ともに、マイペースで仕事をこなしたい気持ちが現れている。

g. 個人や家族の要望との両立が可能

「強く望む」「望む」の割合が90%を超えており、かなり強く望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「望む」が、女性は「強く望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

仕事と家庭の両立は、女性の方が強く望んでいることが明らかとなった。

h. 困難でも挑戦する力が認められる

「強く望む」「望む」の割合が70%を超えており、比較的望まれている項目である (Figure 15)。

男女差があり、男性は「強く望む」「望む」が、女性は「あまり望まない」「やや望む」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男性の方が、挑戦する力を重視していることが考えられる。

i. 広島を拠点にした就労が可能

「強く望む」「望む」の割合が50%程度であり、県外志向を持つ学生がある程度いることを見ることができる (Figure 15)。

男女差があり、男性は「望む」が有意に多く、女性は「望む」が有意に少なかった (p<.01, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 16)。

男女ともに、広島で働くことを強く望んでいない人が多く、その傾向は男女間でもあまり差がないことが明らかとなった。

8 就活成功のために、あなたが身に着けたい「力」は？

(4：とても必要 3：必要 2：やや必要 1：あまり必要でない)

- a. 基礎的な教養、学力 b. 専攻の専門的な知識・技能 c. 日常業務可能な語学力 d. IT能力・スキル
 e. 検定資格の取得 f. 自分を知る・自己分析力 g. やりたいことや目標の把握
 h. ストレスに対応できる力 i. 周囲と協働する力 j. 自己肯定感

Figure 17 就活成功のために身に着けたい「力」(全体での割合%)

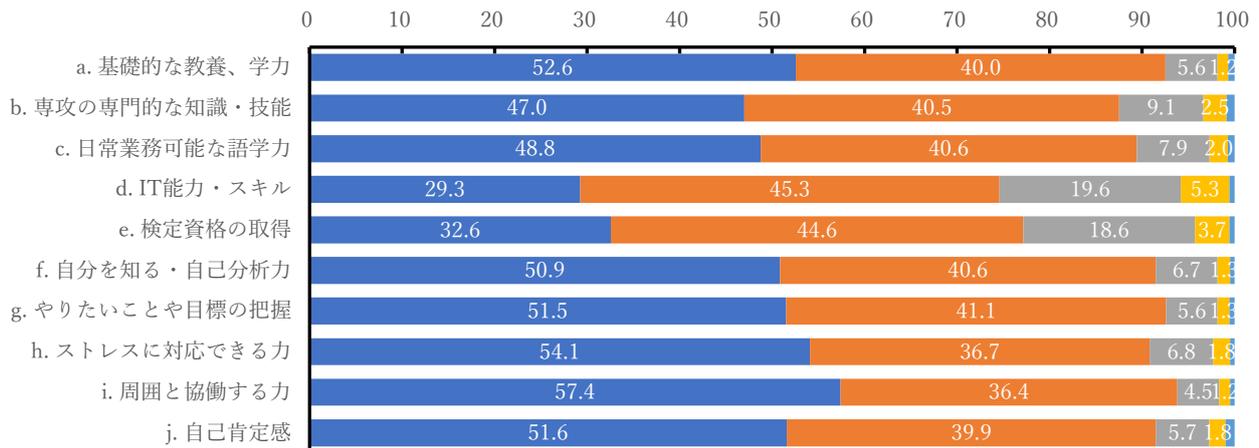
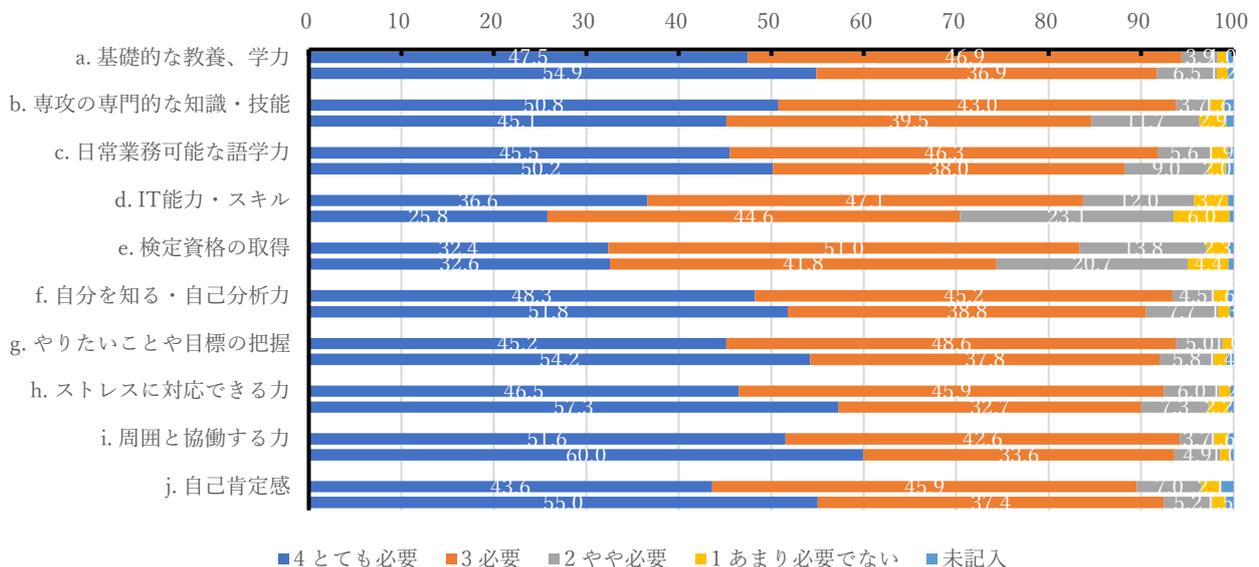


Figure 18 就活成功のために身に着けたい「力」(男女別%：上段 男性, 下段 女性)



a. 基礎的な教養、学力

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「必要」が、女性は「とても必要」「やや必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともに重要視している力ではあるが、男性の方がより強くその必要性を感じている。

b. 専攻の専門的な知識・技能

「とても必要」「必要」の割合が80%を超えており、かなり重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「とても必要」が、女性は「やや必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともに重要視している。男性の方がより強くその専門性を活かした就職を望んでいることが明らかとなっている。

c. 日常業務可能な語学力

「とても必要」「必要」の割合が80%を超えており、かなり重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「必要」が、女性は「やや必要」が有意に多かった ($p < .05$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともに重要視している力ではあるが、男女差はあまり見られなかった。

d. IT能力・スキル

「とても必要」「必要」の割合が70%を超えており、比較的重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「とても必要」が、女性は「あまり必要でない」「やや必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男性の方が、IT能力やスキルの必要性を感じており、能力を生かした就職につなげたいと考えている。

e. 検定資格の取得

「とても必要」「必要」の割合が70%を超えており、比較的重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「必要」が、女性は「あまり必要でない」「やや必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男性の方が、やや資格の必要性を感じており、所得した資格を生かした就職につなげたいと考えている。

f. 自分を知る・自己分析力

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「必要」が、女性は「やや必要」が有意に多かった ($p < .05$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女差はあまり見られず、男女ともにとても重要視している項目であることが分かる。

g. やりたいことや目標の把握

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「やや必要」が、女性は「とても必要」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女差はあまり見られず、男女ともにとても重要視している項目であることが分かる。

h. ストレスに対応できる力

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「やや必要」が、女性は「とても必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともにとても重要視している力ではあるが、就活により強いストレスがかかることを危惧しているのか、女性の方がより必要としている項目である。

i. 周囲と協働する力

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「やや必要」が、女性は「とても必要」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともにとても重要視している力ではあるが、女性の方がより必要と感じている項目であった。

j. 自己肯定感

「とても必要」「必要」の割合が90%を超えており、非常に重要であると認識されている項目である (Figure 17)。

男女差があり、男性は「やや必要」が、女性は「とても必要」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 18)。

男女ともにとても重要視している力ではあるが、女性の方がより必要と感じている項目であった。

9 就活に当たって、次のようなことは役立っていますか？

(4：とても役立つ 3：役立つ 2：やや役立つ 1：あまり役立たない)

- a. 大学キャリアセンターの支援
- b. 就職関連の外部セミナーや教室
- c. 職場インターンシップや実習
- d. 課題発見解決型の学習体験
- e. グループワーク学習体験
- f. 企業人の講話
- g. サークルや部活などの活動
- h. ボランティアや社会貢献活動
- i. アルバイト体験
- j. 学生の自由時間の活用
- k. 先輩の就活体験談
- l. 自分のプラン作り

Figure 19

就活に役立っているか？（全体での割合％）

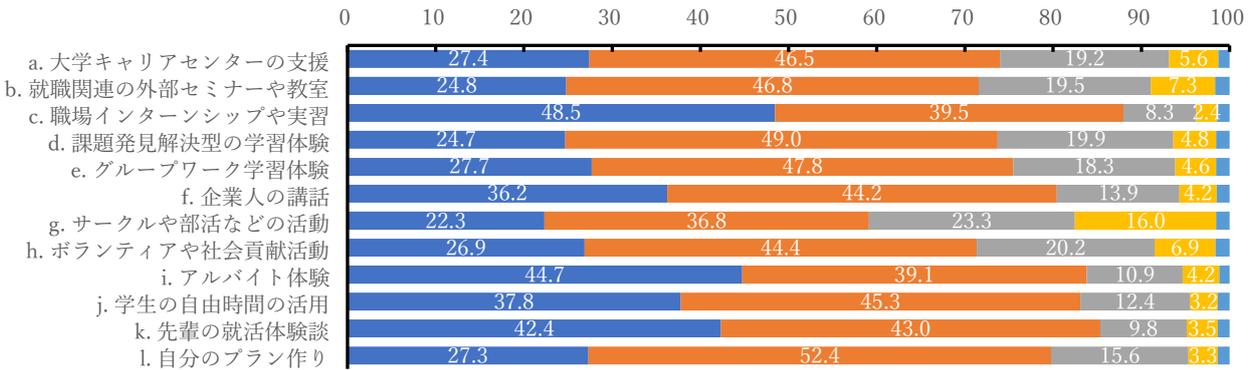
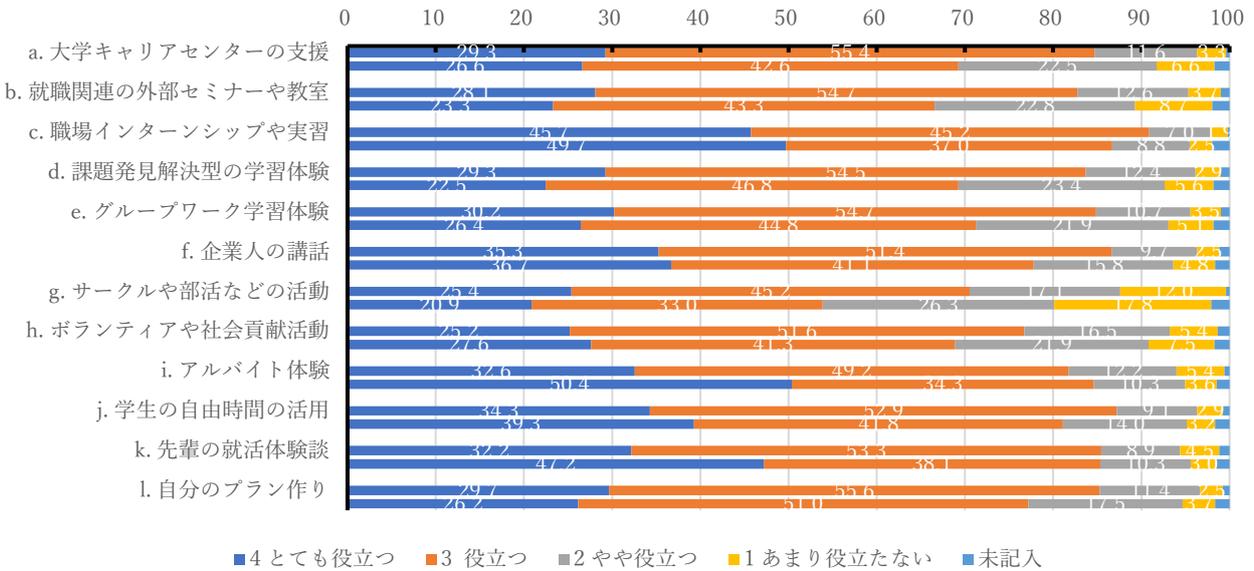


Figure 20

就活に役立っているか？（男女別％：上段 男性, 下段 女性）



a. 大学キャリアセンターの支援

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった (p<.001, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じているが、女性の方の希望にあまりそえていない可能性がある。男性に向けた支援方法と女性に向けた支援方法を分けて考えたほうが良いのかもしれない。この後のいくつかの質問項目についても、女性の方が「役に立つ」と実感していない回答が多く、有効に機能していないのかもしれない。今のやり方は、男性にとっては有効かもしれないが、女性にもあったやり方を今後考えていく必要があるかもしれない。

b. 就職関連の外部セミナーや教室

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「とても役立つ」「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じているが、男性の方がより役に立っていると感じている。

c. 職場インターンシップや実習

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が有意に多く、女性は「役立つ」が有意に少なかった ($p<.05$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともにとても役立っていると感じており、有効であると感じている人が多い。

d. 課題発見解決型の学習体験

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「とても役立つ」「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じているが、男性の方がより役に立っていると感じている。

e. グループワーク学習体験

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男性の方が、グループワーク学習体験の必要性を感じており、こうした体験を就職に結びつけたいと考えている。

f. 企業人の講話

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じているが、男性の方がより企業人の話を聞きたいと考えているようだ。

g. サークルや部活などの活動

「とても役立つ」「役立つ」の割合が50%程度であり、やや役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女とも、あまり就活に役立つとは考えていないように思える。男性の方がサークルや部活などで得られた成果や人脈を有効に活用しているのだろう。

h. ボランティアや社会貢献活動

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じているが、男性の方がより有効に活用できると考えているようだ。

i. アルバイト体験

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともにとても役立っていると感じているが、女性の方がより強く役立っている感覚を感じている。

j. 学生の自由時間の活用

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともにとても役立っていると感じており、女性の方がより有効に活用しているのではないかと考えられる。

k. 先輩の就活体験談

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともにとても役立っていると感じており、女性の方がより役立つと感じているようだ。自由記述の部分にもあったが、先輩の就活体験を直接聞きたいと考えている学生は、女性にとても多い。

l. 自分のプラン作り

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的役立つとされる項目である (Figure 19)。男女差があり、男性は「やや役立つ」が有意に少なく、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .05$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 20)。

男女ともに役立っていると感じており、男女差はあまり見られなかった。

10 就活にあたって、あなたが欲しい情報やサポートについて、どのようなことでもお書きください。(自由記述)

自由記述回答は、テキストマイニングにより集計および分析を行った。

テキストマイニングでは、文章をまずキーワードに分割し(形態素解析)、分割したキーワードの出現頻度およびキーワード間の関係性を集計し、各種統計手法により分析する。使用したソフトは、“KH Coder 3”(樋口耕一, 2004)であり、どんな言葉が多く出現していたのかを頻度表から見る事ができる。さらに多変量解析によって、一緒に出現することが多い言葉のグループや、同じ言葉を含む文書のグループを見ることで、データ中に含まれるコンセプトを探索できるものである。

本項目では、回答者からの記述の要約および可視化のために共起ネットワークグラフを用い、共起ネットワークの描画する共起関係(edge)の選択は、Jaccard係数で、上位60個目までとした。共起ネットワークは、関連が特に強い語同士を線で結んだものであり、特定の語と関連が強い語のネットワークを描いたものである。

コメントの「わからない」5人、性別がその他3人も除いた、合計505人、男性79人、女性426人からの自由記述の文章に対して解析を行った。

全員 508人 (男性79人 + 女性 426人 + 不明 3人)

総抽出語数 7858 (2343) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、657語 (異なり語数) を対象に解析を行った。

男性 79人

総抽出語数 898 (268) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、178語 (異なり語数) を対象に解析を行った。

女性 426人

総抽出語数 6854 (2025) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、593語 (異なり語数) を対象に解析を行った。

Table 2

全回答者における抽出語のリスト (上位50位まで)

| 抽出語 | 出現回数 |
|------|------|
| 就職 | 107 |
| 企業 | 95 |
| 情報 | 84 |
| 知る | 70 |
| 活動 | 59 |
| 働く | 42 |
| 会社 | 40 |
| 自分 | 40 |
| 面接 | 39 |
| 先輩 | 28 |
| 雰囲気 | 28 |
| 実際 | 24 |
| 聞く | 24 |
| サポート | 23 |
| 仕事 | 23 |
| 職種 | 23 |
| 欲しい | 23 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|----------|------|
| インターンシップ | 19 |
| 話 | 19 |
| 給料 | 18 |
| 就職先 | 18 |
| 職場 | 18 |
| 内容 | 18 |
| 福利厚生 | 18 |
| 体験談 | 16 |
| 良い | 16 |
| 教える | 14 |
| 具体的 | 14 |
| 詳しい | 14 |
| 機会 | 13 |
| 業界 | 13 |
| 業種 | 13 |
| 職業 | 12 |
| 相談 | 12 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|----------|------|
| 大学 | 12 |
| 練習 | 12 |
| エントリーシート | 11 |
| 合う | 11 |
| 対策 | 11 |
| 方法 | 11 |
| 雇用 | 10 |
| 資格 | 10 |
| 制度 | 10 |
| 説明会 | 10 |
| 分野 | 10 |
| いつ | 9 |
| 環境 | 9 |
| 向く | 9 |
| 広島県 | 9 |
| 広島県外 | 9 |

- ① 実際に働いている人から、会社内の雰囲気、女性が活躍できる環境なのかを聞きたい
- ✓「働く」「実際」「会社」「雰囲気」「職場」「社内」「女性」「出来る」「環境」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・その職場で働いている方から見た会社の雰囲気などを聞きたい。
 - ・その企業で働いている方の本音を知りたい。
 - ・女性が働きやすい職場かどうかを知りたい。
- などの、記述があった。
- ② 自分にあう職業や、向いている業種を知りたい
- ✓「自分」「向く」「職種」「雰囲気」「合う」「見つける」「分野」「興味」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・どのような職種が自分に合っているのか。やりたいことの見つけ方。
 - ・自分に合う職種や業種がわかるシステムが欲しい。何が向いているのかも分からない。
 - ・自己分析ややりたい職種を見つけるためのサポートがほしい。
- などの、記述があった。
- ③ どのような資格を取ればよいか具体的に知りたい
- ✓「必要」「資格」「取る」「雰囲気」「具体的」「休み」「給料」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・この企業に就職するためには、どのような資格が必要か。
 - ・その仕事の詳細はもちろん、その仕事に着いている人の資格や身につけたこと、プラスになるやっておいた方がいいもの。
 - ・どのような人材を希望するのか。
- などの、記述があった。
- ④ 説明会などで、話を聞く機会がほしい
- ✓「説明会」「機会」「嬉しい」「お話」「思う」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・いろんな業種を知る機会。
 - ・企業説明会や企業紹介など、企業を知る機会がたくさんあると嬉しい。
 - ・気軽に体験談が共有できる機会。
 - ・自分が興味のある職種の具体的なお話が聞けたら嬉しいなと思います。
- などの、記述があった。
- ⑤ エントリーシートの書き方や、履歴書・自己PRの添削をしてほしい
- ✓「エントリーシート」「書き方」「履歴書」「添削」「自己」「PR」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・履歴書などの書き方や添削。
 - ・面接や履歴書の指導。
- などの、記述があった。

⑥ 面接の練習や対策講座

- ✓ 「練習」「面接」「対策」「講座」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ エントリーシート、面接の情報。
- ・ エントリーシートや面接練習ができるイベントなどの情報。
- ・ 会社の情報や就職率また面接対策など。

などの、記述があった。

⑦ 業界研究や自己分析のやり方が知りたい

- ✓ 「自己分析」「やり方」「研究」「業界」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ さまざまな自己分析のやり方を教えてほしい。
- ・ 企業研究のやり方。他己分析。
- ・ 自己分析のやり方。

などの、記述があった。

⑧ 先輩の体験談を聞きたい

- ✓ 「聞く」「話」「先輩」「体験談」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ どのような職種が自分に合っているのか。やりたいことの見つけ方。先輩の体験談やアドバイス。
- ・ セミナーや講義など、社会人の人や先輩たちの体験談やキャリアについての話。
- ・ 公務員試験の科目それぞれの学習方法（先輩方の経験）。

などの、記述があった。

⑨ どのような人材が求められているか知りたい

- ✓ 「支援」「求める」「人材」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ どの企業がどんなことが出来る人間を求めているのか、はっきり知りたい。
- ・ 自分が希望するところに就職するためには何が必要なのか具体的に知りたい。
- ・ どんな人材を求めているのか、企業によってカテゴリー分けされた就職支援サイト。

などの、記述があった。

⑩ 就活をいつ始めたらよいか知りたい

- ✓ 「いつ」「始める」「分かる」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ いつから始めるべきか。また何から始めればいいのかの情報が欲しいです。
- ・ まず何をすればいいのか、いつまでに何をしておくといいのか教えてほしい。

などの、記述があった。

⑪ 就職活動そのもののやり方について知りたい

- ✓ 「就職」「活動」「知る」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ 2年生なのでまだ就職活動はしていませんが、先輩から聞いたりしても就職の様子が想像つかないので、学校でインターンシップに応募するところからざっくりでもいいので流れを教えてください。
- ・ 就職活動の進め方。就職活動におけるマナー。

- ・スタートが1番何をしたらいいか分からないので、就職活動を始めの第一歩で何をしたらいいのか、どのようなサポート制度があるのか知りたい。
- ・どうやって就職活動を始めればいいのか(きっかけ)。

などの、記述があった。

⑫ 試験を受けた人の採用状況について知りたい

- ✓「状況」「採用」「試験」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・みんなの就職活動状況。
- ・企業の過去の採用状況。
- ・地域周辺の雇用状況について。

などの、記述があった。

⑬ 詳しい仕事内容について知りたい

- ✓「詳しい」「仕事」「内容」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・その仕事の詳細はもちろん、その仕事にしている人の資格や身につけたこと、プラスになるやっておいた方がいいもの。経験や聞かないと分からない情報。
- ・業務内容について、より具体的な情報が欲しい。
- ・具体的な業務内容。スケジュールを知りたい。

などの、記述があった。

⑭ 就活に関係する制度的なものについて知りたい

- ✓「行う」「制度」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・(就職活動を始めにあたり、) どのようなサポート制度があるのか知りたい。
- ・個別のキャリアサポート(メンター制度のようなもの)。
- ・施設や病院の教育制度。

などの、記述があった。

⑮ 大学に求めること・大学の低学年向けの就活情報

- ✓「大学」「考える」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・大学の1年次から、就職について考えていきたい。
- ・一緒に考えてくれる環境。
- ・自分の大学の就職先の情報など。
- ・大学1年生です。早い段階からインターンシップやオンラインでなにか参加したいと考えています。ですが、就職活動についてまだ知らないことが多くあるので、どの職業に入りたいかまだ決めてない人が参加できるような大学1年生向けのイベント情報を知りたいです。
- ・実習などの機会を大学に行って欲しい。

などの、記述があった。

⑯ 残業時間について知りたい

- ✓ 「残業」「時間」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ 休みの頻度。残業時間。
 - ・ 残業や休日出勤している人がどのくらいいるのかを知りたい。実際に休暇を取った人を取る前、取ったあとの職場の雰囲気について知りたい。
 - ・ 詳しい残業時間
- などの、記述があった。

⑰ 広島県外に就職を希望する人に対するサポートを知りたい

- ✓ 「広島県外」「サポート」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ 広島県外への就職のサポート。
 - ・ 広島県に就職する人だけではなくて、広島県外に就職したい人のサポートも徹底してほしいです。
 - ・ 広島県外には行きやすいイメージがないので、県内ばかりでなく広島県外へのサポートがどんなものがあるか知りたいです。
- などの、記述があった。

⑱ 広島県における求人について知りたい

- ✓ 「地域」「広島県」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ 広島県の就職しやすい企業。
 - ・ 広島県の地元企業の情報。
 - ・ 地域周辺の雇用状況について。
- などの、記述があった。

⑲ 企業についての情報を知りたい

- ✓ 「企業」「情報」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ どのような企業があって、何をしているのかを理解しておらず、興味のある業種などもないため、業界の知識や、企業についての知識が欲しい。
 - ・ どのような企業があるのか。その企業はどんなことをしているのか。離職率。福利厚生について。給料について。会社の雰囲気。
 - ・ その企業で働いている方の本音。社内の雰囲気などを知りたい。
- などの、記述があった。

これらのことから、初めて行う就職活動というものに対して、不安を抱えており、様々なサポートを必要としていることが分かる。

まずは、就活を始める切っ掛けやそのあとの活動の流れや制度について、知りたいという意見があった。(③ どのような資格を取ればよいか具体的に知りたい。⑩ 就活をいつ始めたならよいか知りたい。⑪ 就職活動そのもののやり方について知りたい。⑭ 就活に関係する制度的なものについて知りたい。⑮ 大学に求めること・大学の低学年向けの就活情報。⑰ 広島県外に就職を希望する人に対するサポートを知りたい。)

一般的な就活の情報の入手についても、欲しい情報としてあったが、これはまだ就活を始めたことがない低学年の意見と思われる。(④ 説明会などで、話を聞く機会がほしい。⑨ どのような人材が求められているか知りたい。⑱ 広島県における求人について知りたい。⑲ 企業についての情報を知りたい。)

また、就活関連のHPなどに載っている情報ではなく、リアルな経験者の声が聞きたいという点が見られた。企業が公開しているHPなどの情報と、SNSなどで知らされる情報との乖離などがあることが理由として考えられる。(① 実際に働いている人から、会社内の雰囲気、女性が活躍できる環境なのかを聞きたい。⑧ 先輩の体験談を聞きたい。⑬ 詳しい仕事内容について知りたい。⑯ 残業時間について知りたい。)

あとは、実際に就活をするに当たり、合否に直結する面接などのテクニックに関する要望があった。(⑤ エントリーシートの書き方や、履歴書・自己PRの添削をしてほしい。⑥ 面接の練習や対策講座。⑫ 試験を受けた人の採用状況について知りたい。)

他にも、まだ自分というものがはっきりと掴めていないことから、以下のような要望も見られた。(② 自分にあう職業や、向いている業種を知りたい。⑦ 業界研究や自己分析のやり方が知りたい。)

Table 3

男性回答者における抽出語のリスト (上位50位まで)

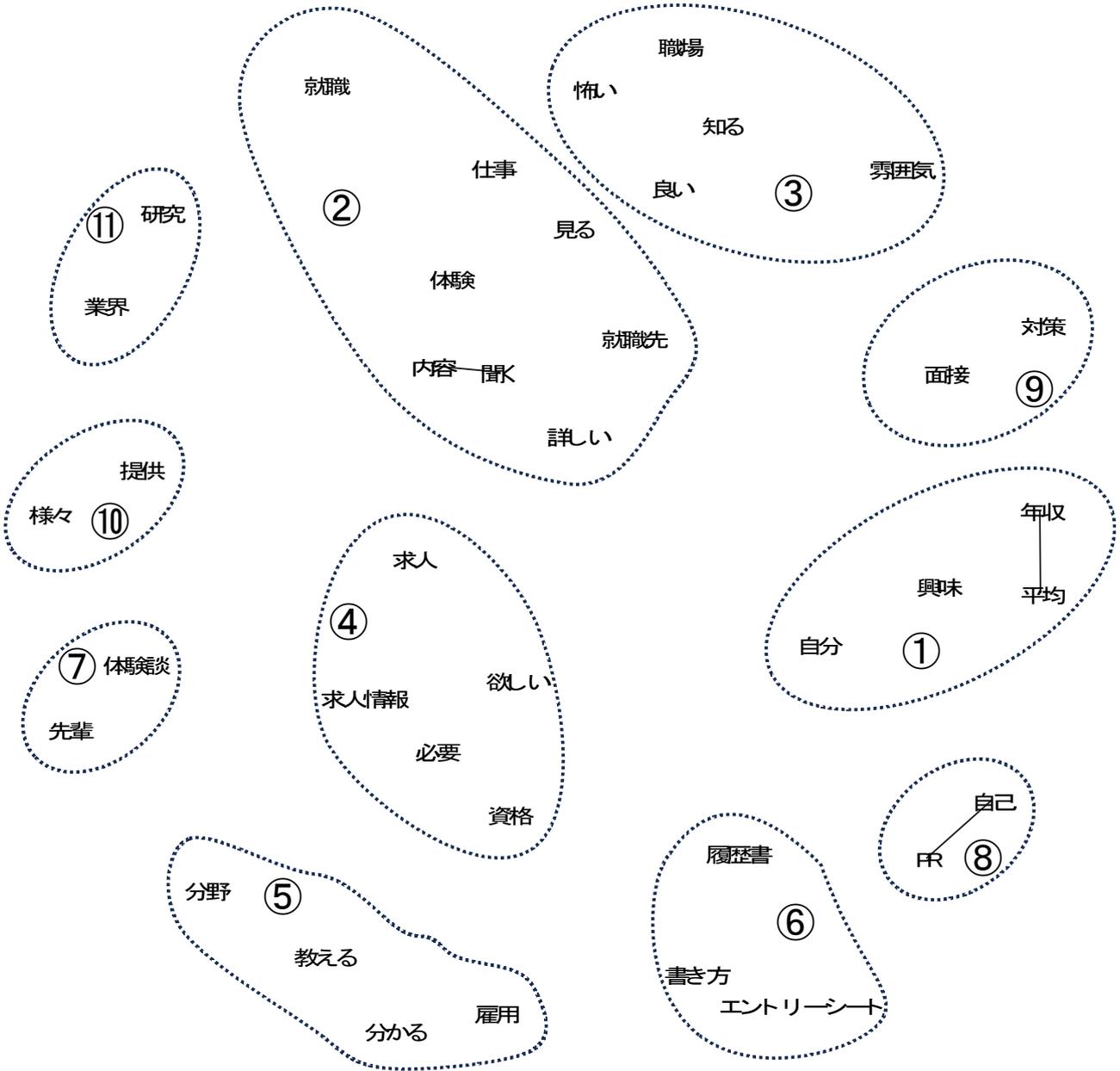
| 抽出語 | 出現回数 |
|-----|------|
| 企業 | 18 |
| 情報 | 17 |
| 就職 | 11 |
| 面接 | 10 |
| 業界 | 5 |
| 実際 | 5 |
| 活動 | 4 |
| 業種 | 4 |
| 対策 | 4 |
| 会社 | 3 |
| 求人 | 3 |
| 給料 | 3 |
| 雇用 | 3 |
| 仕事 | 3 |
| 資格 | 3 |
| 自分 | 3 |
| 就職先 | 3 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|----------|------|
| 詳しい | 3 |
| 職場 | 3 |
| 先輩 | 3 |
| 福利厚生 | 3 |
| 雰囲気 | 3 |
| PR | 2 |
| インターンシップ | 2 |
| エントリーシート | 2 |
| サポート | 2 |
| 求人情報 | 2 |
| 教える | 2 |
| 興味 | 2 |
| 研究 | 2 |
| 見る | 2 |
| 自己 | 2 |
| 書き方 | 2 |
| 体験 | 2 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|-----|------|
| 体験談 | 2 |
| 知る | 2 |
| 提供 | 2 |
| 内容 | 2 |
| 年収 | 2 |
| 必要 | 2 |
| 怖い | 2 |
| 分かる | 2 |
| 分野 | 2 |
| 聞く | 2 |
| 平均 | 2 |
| 様々 | 2 |
| 欲しい | 2 |
| 履歴書 | 2 |
| 離職率 | 2 |
| 良い | 2 |

Figure 22

男性回答者の自由記述文における語句の共起ネットワーク



男性の自由記述のコメントに注目し、回答された単語のグループ分けを行った。また、出現パターンの似通った単語同士を線で結んでいる（共起ネットワーク）。

その結果、11の関連する語句のグループ（クラスター）が描出された。

① 自分が興味のある企業の平均年収などが知りたい

✓「自分」「興味」「平均」「年収」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・興味のある企業の部門ごとの平均年収。
- ・自分の興味ある企業の情報。
- ・その業界はどのような平均年収なのか。

などの、記述があった。

② 就職先の仕事を体験したり、詳しい業務内容について知りたい

✓「就職」「仕事」「体験」「見る」「内容」「聴く」「就職先」「くわしい」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・もっと就職先の仕事内容や、詳しい情報を聞きやすく見やすい制度や、体験があると嬉しいです。
- ・実際の現場を体験する活動。
- ・世間的なイメージもあり、職場というのが少し怖いと感じてしまいます。表には良い面しか見せないで就職の際どうしたら怖くない企業に就職できるかが不安です。

などの、記述があった。

③ 職場の雰囲気が良いのかどうか知りたい

✓「怖い」「職場」「良い」「知る」「雰囲気」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・職場の雰囲気は知りたい。
- ・会社の状況や雰囲気。
- ・雑談会による、和やかな雰囲気での企業マッチングイベントなど。

などの、記述があった。

④ 求人情報の、必要な資格について知りたい

✓「求人」「求人情報」「欲しい」「必要」「資格」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・求人情報そのものではなく、その求人に対して必要なスキルや資格等をまとめた情報発信媒体が欲しい。
- ・いつ求人(情報)がくるか。
- ・学校に直接求人が来ている企業。

などの、記述があった。

⑤ 興味のある分野での雇用に関する情報について

✓「分野」「教える」「分かる」「雇用」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・志望する分野で企業を選ぶ際に注目すべき点。
- ・IT分野における、全国の企業を教えてほしい。
- ・労働賃金から引かれる税引きを分かりやすく教えて欲しい。
- ・雇用形態。福利厚生の情報。

などの、記述があった。

⑥ 履歴書やエントリーシートの書き方を知りたい

- ✓「履歴書」「書き方」「エントリーシート」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・好印象な面接の受け方やエントリーシートの書き方。
- ・履歴書の書き方。
- ・エントリーシートの確認。

などの、記述があった。

⑦ 就活をした先輩の体験談を知りたい

- ✓「先輩」「体験談」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・先輩の体験談。
- ・先輩との座談会。

などの、記述があった。

⑧ 自己PRの仕方を知りたい

- ✓「自己」「PR」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・就職活動をするに当たって、面接などのやり方自己PRの仕方。
- ・自己PR等のアドバイス。

などの、記述があった。

⑨ 面接対策をしてほしい

- ✓「面接」「対策」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・いつ求人があるか、どのような面接内容が聞かれるか。
- ・好印象な面接の受け方やエントリーシートの書き方。
- ・面接サポート。
- ・面接や履歴書の指導。

などの、記述があった。

⑩ 各種の情報提供

- ✓「様々」「提供」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・失敗談の提供。
- ・様々な業種の情報提供や、相談に乗ってもらいたい。
- ・様々な企業の差についての情報。

などの、記述があった。

⑪ 企業研究のやりかたについて

- ✓「業界」「研究」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・学内合同業界研究。
- ・業界企業研究の進め方。
- ・業界内における企業間の繋がり。

などの、記述があった。

Table 4

女性回答者における抽出語のリスト（上位50位まで）

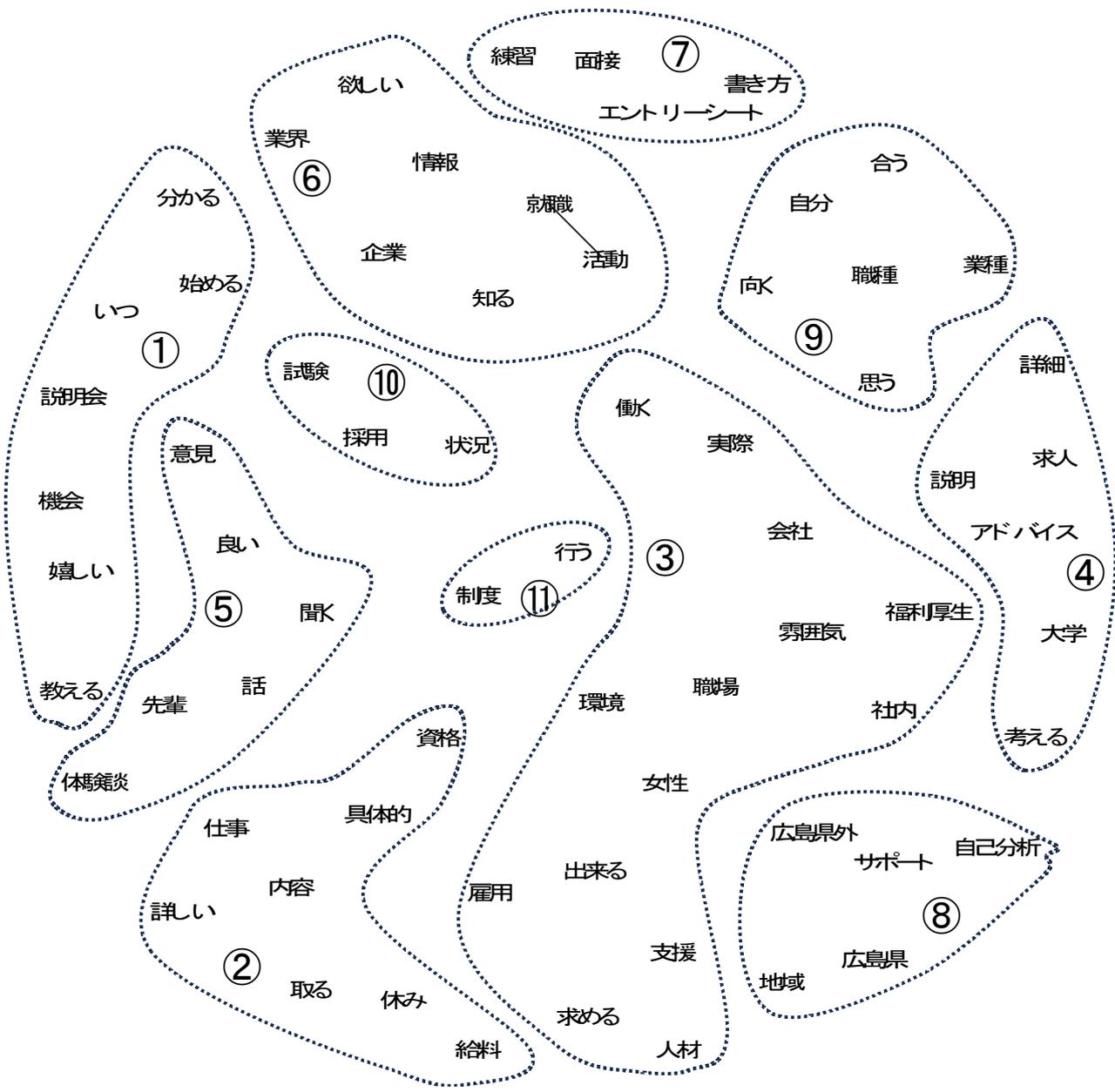
| 抽出語 | 出現回数 |
|------|------|
| 就職 | 96 |
| 企業 | 76 |
| 知る | 68 |
| 情報 | 67 |
| 活動 | 55 |
| 働く | 41 |
| 会社 | 37 |
| 自分 | 37 |
| 面接 | 29 |
| 先輩 | 25 |
| 雰囲気 | 25 |
| 職種 | 23 |
| サポート | 21 |
| 聞く | 21 |
| 欲しい | 21 |
| 仕事 | 19 |
| 実際 | 19 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|----------|------|
| 話 | 19 |
| インターンシップ | 17 |
| 内容 | 16 |
| 給料 | 15 |
| 就職先 | 15 |
| 職場 | 15 |
| 福利厚生 | 15 |
| 具体的 | 14 |
| 体験談 | 14 |
| 良い | 14 |
| 機会 | 13 |
| 教える | 12 |
| 職業 | 12 |
| 練習 | 12 |
| 合う | 11 |
| 詳しい | 11 |
| 相談 | 11 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|----------|------|
| 大学 | 11 |
| エントリーシート | 9 |
| 環境 | 9 |
| 業種 | 9 |
| 向く | 9 |
| 広島県 | 9 |
| 始める | 9 |
| 制度 | 9 |
| 説明会 | 9 |
| いつ | 8 |
| 希望 | 8 |
| 求める | 8 |
| 業界 | 8 |
| 広島県外 | 8 |
| 思う | 8 |
| 自己分析 | 8 |

Figure 23

女性回答者の自由記述文における語句の共起ネットワーク



女性の自由記述のコメントに注目し、回答された単語のグループ分けを行った。また、出現パターンの似通った単語同士を線で結んでいる（共起ネットワーク）。その結果、11の関連する語句のグループ（クラスター）が描出された。

① 就活をいつ始めたらいいのか、説明会などの機会について知りたい

✓「分かる」「始める」「いつ」「説明会」「機会」「嬉しい」「教える」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・いつから始めるべきか。また何から始めればいいのかの情報が欲しいです。
- ・いつから就職活動を始めたら良いか。業種関係なくとりあえずやるべきことは。
- ・インターンシップや説明会などの情報。
- ・企業について簡単に知ることが出来る説明会（オンデマンドでいつでも視聴可能）。

などの、記述があった。

② 詳しい仕事内容や仕事上で必要な資格。給料や休暇のとり方

✓「資格」「具体的」「内容」「仕事」「詳しい」「取る」「休み」「給料」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・どの企業がどんなことが出来る人間を求めているのか、はっきり知りたい。自分が希望するところに就職するためには何が必要なのか具体的に知りたい。
- ・会社ごとの働き方の具体的なイメージ。
- ・具体的な業種ごとの仕事内容が知りたい。
- ・給料の高さ。休みの取りやすさ。仕事内容を各会社で書いたものを出して欲しいです。

などの、記述があった。

③ 女性にとっての職場の雰囲気や得られる支援などについて知りたい

✓「働く」「実際」「会社」「雰囲気」「福利厚生」「社内」「職場」「環境」「女性」「出来る」「雇用」「支援」「求める」「人材」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・すごく噛み砕いて、雇用形態についての説明をして欲しい。実際にその職場で働いている方から見た会社の雰囲気などを聞きたい。
- ・その企業で働いている方の本音。社内の雰囲気などを知りたい。
- ・女性が活躍しているか。
- ・女性社員が多いかどうか。女性でも働きやすい環境かどうか。

などの、記述があった。

④ 大学に求める求人の詳細やアドバイス

✓「詳細」「求人」「説明」「アドバイス」「大学」「考える」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・キャリアセンター等の活用方法。インターンシップ情報。企業研究に関する方法などのアドバイス。
- ・どのような職種が自分に合っているのか。やりたいことの見つけ方。
- ・定期的な面談。先輩のアドバイス。
- ・一緒に考えてくれる環境。

などの、記述があった。

⑤ 先輩の体験談を聞きたい

- ✓ 「意見」「良い」「聞く」「話」「先輩」「体験談」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ 企業の良くないところや、リアルな口コミの意見。
 - ・ その場で実際に働いている人の話。良い意見も悪い意見も聞きたい。
 - ・ 就職活動にうまくいった人やいいところに就職できた人の話だけではなく、ここが少し失敗したとか、もう少しこうすればよかったなど、同じように悩んでいる人の話が聞きたい。
- などの、記述があった。

⑥ 業界の情報、企業の情報を知りたい

- ✓ 「業界」「欲しい」「情報」「企業」「就職」「活動」「知る」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ いろんな業種を知る機会。
 - ・ どのような企業があって、何をしているのかを理解しておらず、興味のある業種などもないため、業界の知識や企業についての知識が欲しい
 - ・ 安定した生活を送るために必要な金額や、福利厚生の良さなどをどこで知ればいいのか分からないので、就職活動で見るべき会社の情報について。
- などの、記述があった。

⑦ 面接の練習やエントリーシートの書き方を教えてほしい

- ✓ 「練習」「面接」「エントリーシート」「書き方」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ エントリーシート、面接の情報。
 - ・ エントリーシートや面接練習ができるイベントなどの情報。
 - ・ 過去問や面接の質問を知りたい。
- などの、記述があった。

⑧ 自己分析や広島県内県外で就活するうえでのサポートがほしい

- ✓ 「広島県外」「サポート」「自己分析」「広島県」「地域」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ どの会社でも就職活動のお金の面（交通費）をサポートしてほしい。
 - ・ 広島県だけでなく、広島県外への就職のサポート。
 - ・ 企業で取り組んでいるキャリアサポートについて知りたいです。
- などの、記述があった。

⑨ 自分にあった職種、向いている業種を知りたい

- ✓ 「自分」「合う」「向く」「職種」「業種」「思う」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・ どのような職種が自分に合っているのか。やりたいことの見つけ方。
 - ・ 自分に合う職種や業種がわかるシステムが欲しい。何が向いているのかも分からない。
 - ・ 自分に合った就職先診断。
- などの、記述があった。

⑩ 試験を受けた人の採用状況について知りたい

- ✓ 「試験」「採用」「状況」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・外国人の採用あるいは留学生。
- ・企業の過去の採用状況。
- ・採用試験の詳細。
- ・就職先の採用状況。

などの、記述があった。

⑪ 会社で採用されている制度について知りたい

- ✓ 「制度」「行う」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・性的マイノリティが働きやすい企業や、企業がどんな対応を行っているかなどの情報があると安心して就職活動できます。
- ・施設や病院の教育制度。福祉制度。
- ・就職活動を行う企業の雰囲気や制度などの情報。

などの、記述があった。

男性と女性の自由記述の内容について違いが見られたものには、以下のようなものがあった

男性で特に見られた意見は、① 自分が興味のある企業の平均年収などが知りたい。② 就職先の仕事を体験したり、詳しい業務内容について知りたい。⑧ 自己PRの仕方を知りたい。⑪ 企業研究のやりかたについて。などの、年収について知りたいということや仕事体験をしてみたいこと、自己PRや企業研究の方法などのテクニック面についての要望が目立った。

また女性では、③ 女性にとっての職場の雰囲気や得られる支援などについて知りたい。⑨ 自分にあった職種、向いている業種を知りたい。⑪ 会社で採用されている制度について知りたい。などの、女性にとっての働く環境について知りたいことや自分の職種への適性について、会社で採用されている、おそらく女性や子育てに対する支援制度についての情報を求めていることが見て取れた。

その他の項目は、共通しているものが多く、⑤ 先輩の体験談を聞きたい。⑦ 面接の練習やエントリーシートの書き方を教えてほしい。② 詳しい仕事内容や仕事上で必要な資格。給料や休暇のとり方。などの、企業のHPからではわからない内部の情報や、就活テクニック、資格に関する情報を必要としていることがわかった。

III あなたのキャリアプラン（長期人生プラン）についてお尋ねします。

1 キャリアプランを考える上で、大切にしたいことは？

(4：とても大切 3：大切 2：やや大切 1：あまり大切でない)

- a. どんな仕事でも働いて収入を得る
- b. 考えに一致しない時には離職して別の方法を
- c. 伴侶を得る
- d. 子どもを持つ
- e. 親を大切ににする
- f. 組織の中の高い地位を目指す
- g. 友人を持つ
- h. 仕事以外に社会的意義のある活動をする
- i. 政治に関心を持つ
- j. 生涯学習、自己研鑽を継続
- k. 健康で安定した生活を目指す
- l. 自由で伸び伸びとした暮らしを優先する

Figure 24

キャリアプランを考える上で、大切にしたいこと（全体での割合%）

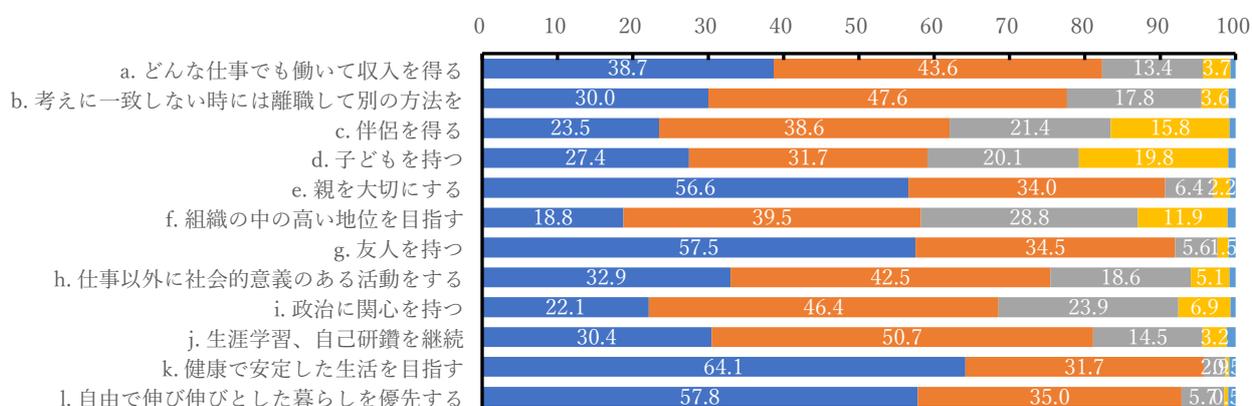
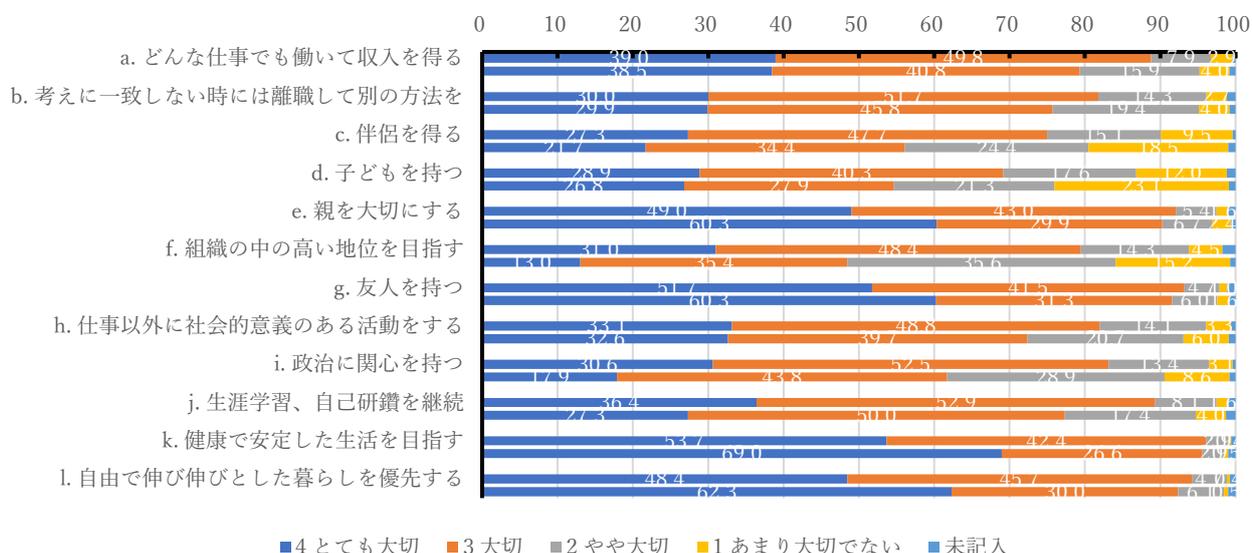


Figure 25

キャリアプランを考える上で、大切にしたいこと（男女別%：上段 男性, 下段 女性）



a. どんな仕事でも働いて収入を得る

「とても大切」「大切」の割合が80%を超えており、かなり大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「やや大切」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともにとても重要視しているが、男性の方が就職に対するモチベーションが高いように感じる。

b. 考えに一致しない時には離職して別の方法を

「とても大切」「大切」の割合が70%を超えており、比較的に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女間の考え方に有意差は見られなかった ($p = .112$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに重要視しており、転職もキャリアにおける選択肢の一つとして考えられる。男女による違いは見られなかった理由については、正規雇用で転職を希望する人の数が増加する傾向にある全国のデータと一致しており、男性も転職を一つの手段として受け止めていることが見られる。

c. 伴侶を得る

「とても大切」「大切」の割合が60%を超えており、大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「とても大切」「大切」が、女性は「あまり大切でない」「やや大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに重要視しているが、男性の方が伴侶を得ることに対する重要度が高いように感じる。

d. 子どもを持つ

「とても大切」「大切」の割合が50%程度であり、やや大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「あまり大切でない」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともにあまり重要視していないが、男性の方が子供を持つことに対する重要度が高いように感じる。

e. 親を大切にする

「とても大切」「大切」の割合が90%を超えており、非常に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「とても大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに非常に重要視している。女性の方が親のケアや介護などに対するモチベーションが高いように感じる。

f. 組織の中の高い地位を目指す

「とても大切」「大切」の割合が50%程度であり、やや大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「とても大切」「大切」が、女性は「あまり大切でない」「やや大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともにあまり重要視していないが、男性の方が高い地位を持つことに対するモチベーションが高いように感じる。

g. 友人を持つ

「とても大切」「大切」の割合が90%を超えており、非常に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「とても大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに非常に重要視している。女性の方が友人関係を重視していることがみられた。

h. 仕事以外に社会的意義のある活動をする

「とても大切」「大切」の割合が70%を超えており、比較的に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「あまり大切でない」「やや大切」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに重要視しているが、男性の方がキャリアに対して社会的意義を求めていることがわかった。

i. 政治に関心を持つ

「とても大切」「大切」の割合が60%を超えており、大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「とても大切」「大切」が、女性は「あまり大切でない」「やや大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに重要視しているが、男性の方が政治に対して関心を強く寄せていることがわかった。

j. 生涯学習、自己研鑽を継続

「とても大切」「大切」の割合が80%を超えており、かなり大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「とても大切」が、女性は「あまり大切でない」「やや大切」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともにとても重要視している項目である。男性の方が高い地位を持つことに対するモチベーションが高いことと同様に、自らのスキルを磨くことを重要視しているように感じる。

k. 健康で安定した生活を目指す

「とても大切」「大切」の割合が90%を超えており、非常に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「とても大切」が有意に多かった (p<.001, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに非常に重要視している。女性の方がより健康に働いていきたいことを重要視していることが示された。

1 自由で伸び伸びとした暮らしを優先する

「とても大切」「大切」の割合が90%を超えており、非常に大切にしたい事柄であると認識されている (Figure 24)。

男女差があり、男性は「大切」が、女性は「とても大切」が有意に多かった (p<.001, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 25)。

男女ともに非常に重要視している。女性の方がより自由に働いていきたいことを重要視していることが示された。

2 ジェンダー格差、多様性と平等について、どのように考えていますか？

(4：強く思う 3：思う 2：やや思う 1：あまり思わない)

- a. 就職活動ではジェンダー格差がなく平等
- b. 雇用の安定に将来的な不安を感じる
- c. 女性の育児家事などによる就業中断はやむを得ない
- d. 男性の育児家事などによる就業中断はやむを得ない
- e. 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方について同意
- f. 将来的に子育てや介護の支援に不安を感じる
- g. 将来的に経済的な社会的格差は広がるだろう
- h. 将来的にワーク&ライフのバランスの改善を目指したい

Figure 26

ジェンダー格差、多様性と平等について、どのように考えているか (全体での割合%)

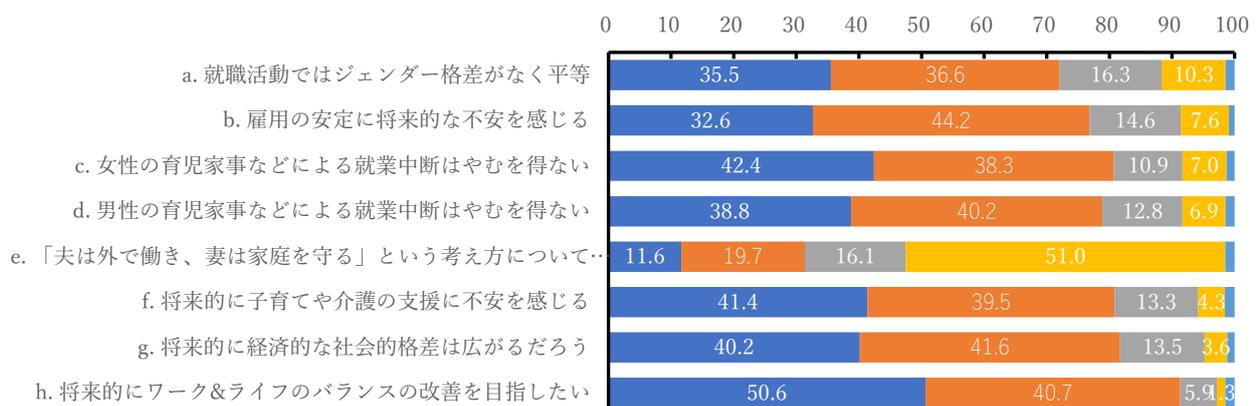
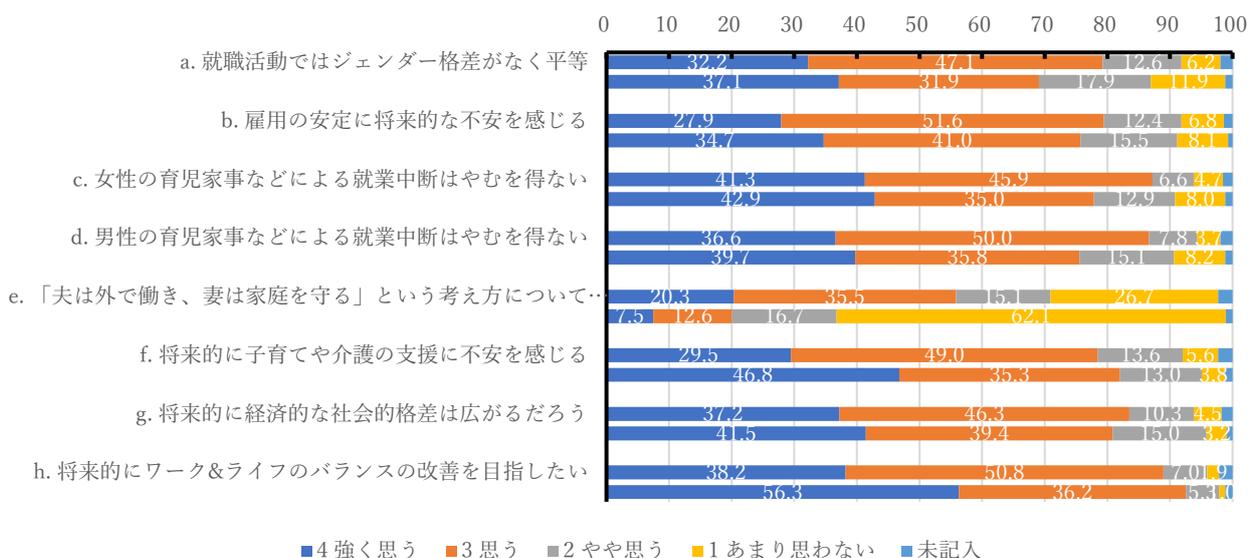


Figure 27

ジェンダー格差、多様性と平等について、どのように考えているか (男女別%：上段 男性, 下段 女性)



a. 就職活動ではジェンダー格差がなく平等

「強く思う」「思う」の割合が70%を超えており、比較的強く意識されている項目である (Figure 26)。男女差があり、男性は「思う」が、女性は「あまり思わない」「やや思う」が有意に多かった (p<.01, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともに重要視している項目である。女性の方がやや不平等であると思っているのではないという事が考えられる。

b. 雇用の安定に将来的な不安を感じる

「強く思う」「思う」の割合が70%を超えており、比較的強く意識されている項目である (Figure 26)。男女差があり、男性は「思う」が、女性は「強く思う」が有意に多かった (p<.01, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともに不安を感じている項目であるが、女性の方がより強い不安を感じていることが示された。

c. 女性の育児家事などによる就業中断はやむを得ない

「強く思う」「思う」の割合が80%を超えており、かなり強く意識されている項目である (Figure 26)。男女差があり、男性は「思う」が、女性は「あまり思わない」「やや思う」が有意に多かった (p<.001, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともにとても重要視している項目である。女性の方が就業中断をやむを得ないとは考えていない事がわかり、他の選択肢の存在を望んでいることが示されている。

d. 男性の育児家事などによる就業中断はやむを得ない

「強く思う」「思う」の割合が70%を超えており、比較的強く意識されている項目である (Figure 26)。

男女差があり、男性は「思う」が、女性は「あまり思わない」「やや思う」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともに重要視している項目である。女性の方が他の選択肢の存在を望んでいる一方、男性も中断はやむを得ないと考えていることが分かった。

e. 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方について同意

「強く思う」「思う」の割合が30%程度であり、あまり同意できないと考えられている項目である (Figure 26)。

男女差があり、男性は「強く思う」「思う」が、女性は「あまり思わない」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともに同意できないと判断している項目である。女性の方が「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という古典的な考え方に違和感を示しており、社会進出を意識している学生が多いことが分かった。反対に男性は、女性に比べて古典的な考え方に同意しており、保守的な考え方が多いことが示された。

f. 将来的に子育てや介護の支援に不安を感じる

「強く思う」「思う」の割合が80%を超えており、かなり強く意識されている項目である (Figure 26)。

男女差があり、男性は「思う」が、女性は「強く思う」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともにとても重要視している項目である。女性の方が子育てや親の介護に従事させられることを不安視していることが明らかとなった。

g. 将来的に経済的な社会的格差は広がるだろう

「強く思う」「思う」の割合が80%を超えており、かなり強く意識されている項目である (Figure 26)。

男女差があり、男性は「思う」が、女性は「やや思う」が有意に多かった ($p<.05$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともにとても重要視している項目である。男性の方が格差が広がることを意識しており、将来への不安を感じる要因ともなっている。

h. 将来的にワーク&ライフのバランスの改善を目指したい

「強く思う」「思う」の割合が90%を超えており、非常に強く意識されている項目である (Figure 26)。

男女差があり、男性は「思う」が、女性は「強く思う」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 27)。

男女ともに非常に重要視している項目である。女性の方が、これまでの仕事と生活のバランスについて、どうにかしないといけないと感じており、改善を希望していることが分かった。

3 良好なキャリア継続のために、就業してから次のようなプログラムは役立ちますか？

(4：とても役立つ 3：役立つ 2：やや役立つ 1：あまり役立たない)

- a. 仕事の悩みなどの相談サロン b. 子育てについての相談サロン
- c. 趣味や活動の交流会 d. IT能力に応じた研修 e. 広島経済・社会などの情報を知る講座
- f. 労働環境、ハラスメントなどの法律講座 g. 起業や新しい動きについて知る講座
- h. 政治への参画具体化の講座 i. 健康や病気についての情報講座
- j. なんでも相談できる電話相談 k. なんでも相談できるオンライン相談

Figure 28

良好なキャリア継続のために、就業してから次のようなプログラムは役立つか (全体での割合%)

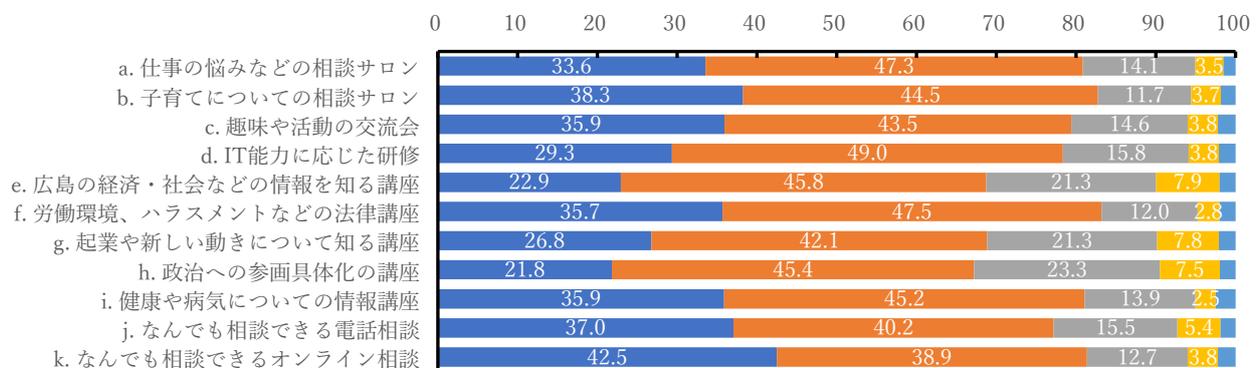
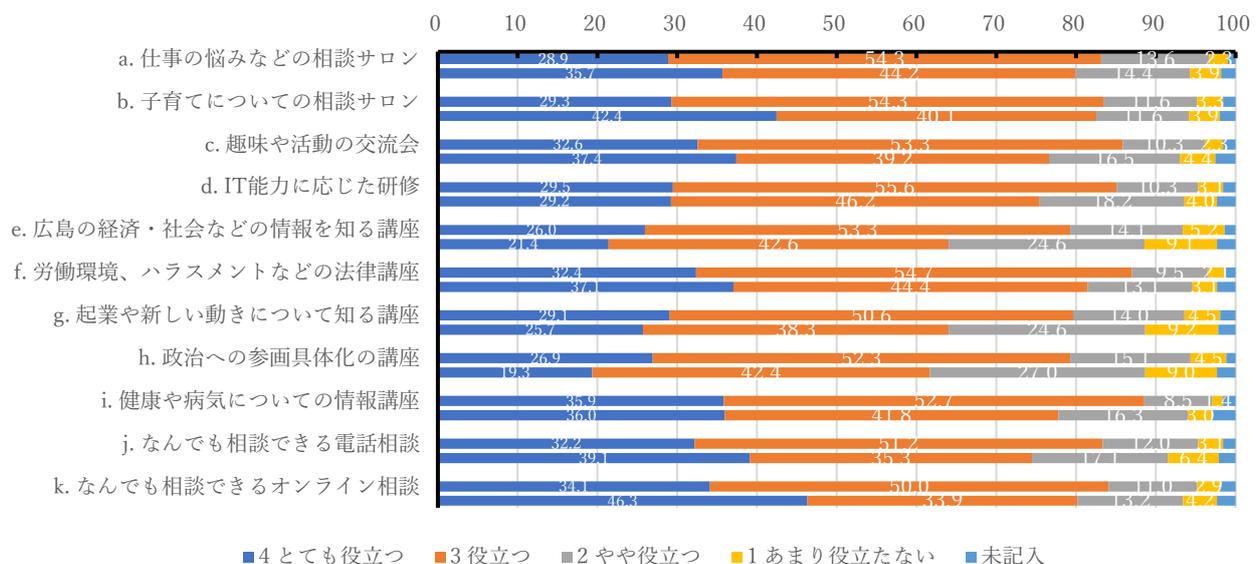


Figure 29

良好なキャリア継続のために、就業してから次のようなプログラムは役立つか (男女別%：上段 男性, 下段 女性)



■ 4とても役立つ ■ 3役立つ ■ 2やや役立つ ■ 1あまり役立たない ■ 未記入

a. 仕事の悩みなどの相談サロン

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともにとても役に立つだろうと期待しているプログラムである。女性の方が、仕事のことに関してもすぐに相談できる場所を強く望んでいることが分かった。

b. 子育てについての相談サロン

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともにとても役に立つだろうと期待しているプログラムである。女性の方が、子育てを重要視しており、気軽に相談できる場所を強く望んでいることが分かった。

c. 趣味や活動の交流会

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに役に立つだろうと期待しているプログラムである。男性の方が、積極的にこのような機会を望んでいることが分かった。

d. IT能力に応じた研修

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに役に立つだろうと期待している研修である。男性の方が、仕事上の必要に迫られるのか、このような機会を望んでいることが分かった。

e. 広島の経済・社会などの情報を知る講座

「とても役立つ」「役立つ」の割合が60%を超えており、期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに比較的役に立つだろうと期待している講座である。男性の方が、地元に関する経済や社会情勢について知る機会を望んでいることが分かった。

f. 労働環境、ハラスメントなどの法律講座

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり期待されている項目である (Figure 28)。男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p < .01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともにとても役に立つだろうと期待している講座である。男性の方が労働環境やハラスメントに敏感になっているのではないかと読み取れる。

g. 起業や新しい動きについて知る講座

「とても役立つ」「役立つ」の割合が60%を超えており、期待されている項目である (Figure 28)。

男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに比較的役に立つだろうと期待している講座である。男性の方が、起業などを意識しつつ就労するのであることが示された。

h. 政治への参画具体化の講座

「とても役立つ」「役立つ」の割合が60%を超えており、期待されている項目である (Figure 28)。

男女差があり、男性は「とても役立つ」「役立つ」が、女性は「あまり役立たない」「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに比較的役に立つだろうと期待している講座である。男性の方が、政治への関心が高いことが示された結果となっている。

i. 健康や病気についての情報講座

「とても役立つ」「役立つ」の割合が80%を超えており、かなり期待されている項目である (Figure 28)。

男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「やや役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともにとても役に立つだろうと期待している講座である。女性の方が、家庭を維持することを意識するのか、健康や病気についての知識を重要視していることが明らかとなった。

j. なんでも相談できる電話相談

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、比較的期待されている項目である (Figure 28)。

男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」「やや役立つ」「あまり役立たない」が有意に多かった ($p<.01$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに役に立つだろうと期待しているプログラムである。女性の方が相談できることについてとても役立つと評価している。次項のオンラインのほうがお役立ち度では高く評価されているが、電話で直接やり取りできる方式も望まれていることが示されている。

k. なんでも相談できるオンライン相談

「とても役立つ」「役立つ」の割合が70%を超えており、かなり期待されている項目である (Figure 28)。

男女差があり、男性は「役立つ」が、女性は「とても役立つ」が有意に多かった ($p<.001$, カイ二乗検定の残差分析) (Figure 29)。

男女ともに役に立つだろうと期待しているプログラムであるが、女性の方が高く評価し、電話での相談よりも必要としていることがうかがえる。

IV あなたのキャリア観について、どのようなことでもお書きください。 (自由記述)

コメントの「特になし」29人、性別がその他4人を除いた、合計297人、男性36人、女性261人からの自由記述の文章に対して解析を行った。

本項目では、回答者からの記述の要約および可視化のために共起ネットワークグラフを用い、共起ネットワークの描画する共起関係 (edge) の選択は、Jaccard係数で、上位60個目までとした。

全員 301人 (男性 36人 + 女性 261人 + 不明 4人)

総抽出語数 8460 (2317) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、744語 (異なり語数)を対象に解析を行った。

男性 36人

総抽出語数 1244 (329) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、220語 (異なり語数)を対象に解析を行った。

女性 261人

総抽出語数 7135 (1964) 語。「名詞B」、「名詞C」、「動詞B」、「形容詞B」、「副詞B」、「否定助動詞」、「形容詞 (非自立)」、「感動詞」、「人名」を除外し、649語 (異なり語数)を対象に解析を行った。

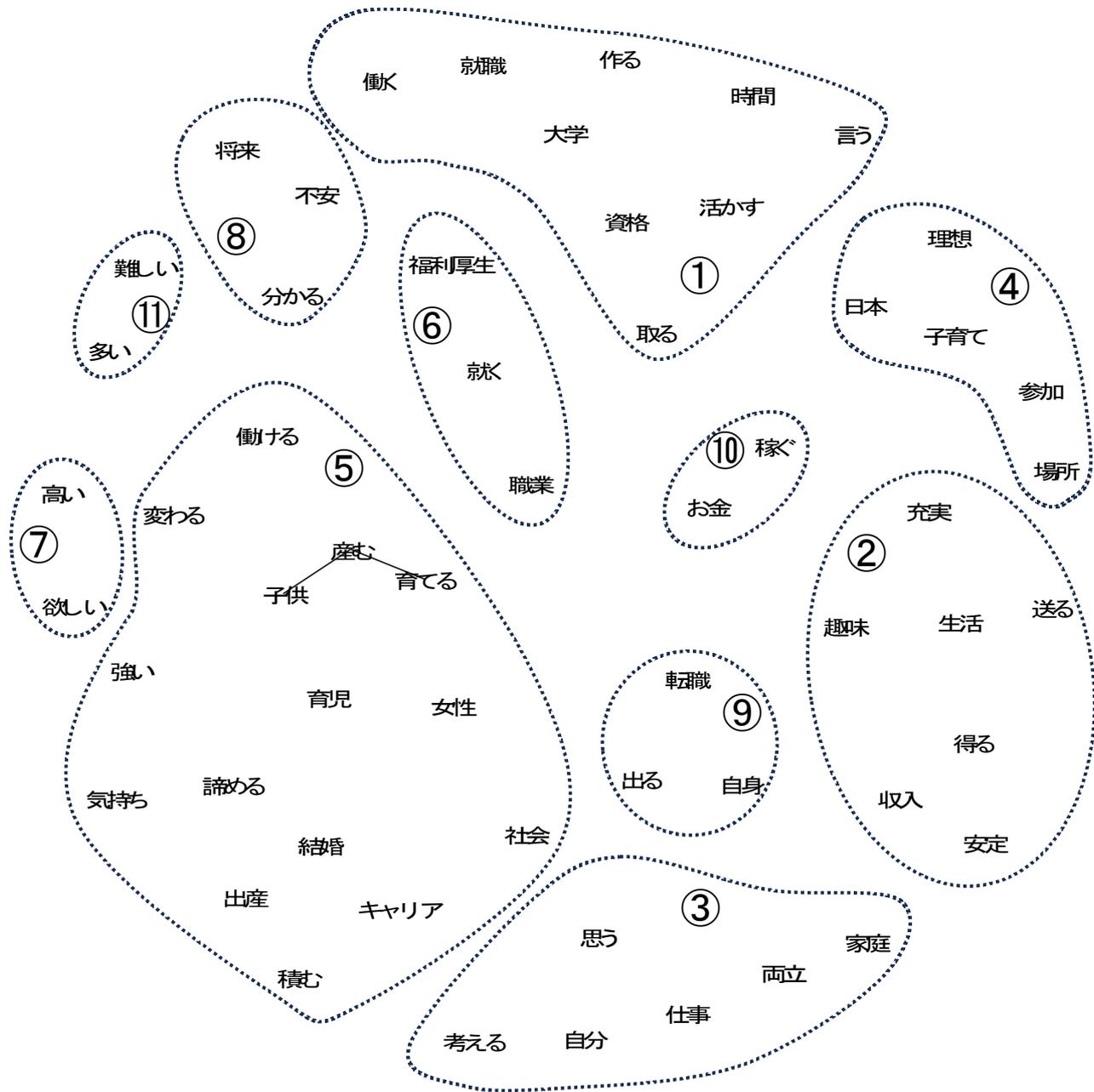
Table 5

回答者全員における抽出語のリスト (上位50位まで)

| 抽出語 | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 |
|------|------|--------|------|------------|------|
| 仕事 | 93 | 両立 | 17 | ワークライフバランス | 11 |
| 自分 | 85 | 就く | 16 | 企業 | 11 |
| 思う | 82 | 家庭 | 15 | 子供 | 11 |
| 働く | 81 | 楽しい | 15 | 資格 | 11 |
| 考える | 41 | 環境 | 14 | 趣味 | 11 |
| 就職 | 36 | 生きる | 14 | 職業 | 11 |
| 大切 | 32 | 続ける | 14 | 大事 | 11 |
| 将来 | 28 | 今 | 13 | 目指す | 11 |
| キャリア | 27 | 時間 | 13 | 高い | 10 |
| 安定 | 24 | 女性 | 13 | 子育て | 10 |
| 不安 | 22 | 大学 | 13 | 自身 | 10 |
| 生活 | 21 | 働ける | 13 | 良い | 10 |
| 社会 | 20 | 結婚 | 12 | 稼ぐ | 9 |
| お金 | 19 | 持つ | 12 | 会社 | 9 |
| 感じる | 18 | 収入 | 12 | 出来る | 9 |
| 充実 | 18 | 福利厚生 | 12 | 長い | 9 |
| 職場 | 18 | プライベート | 11 | | |

Figure 30

回答者全員分の自由記述文における語句の共起ネットワーク



「IV あなたのキャリア観について、どのようなことでもお書きください。」において、自由記述で得られたデータを、集計解析し、グループ分けを行った。また、出現パターンの似通った単語同士を線で結んでいる（共起ネットワーク）。

すべて自由記述の回答者からのコメントに対して、解析を行った結果、11の関連する語句のグループ（クラスター）が描出された。

① 大学で得た資格を活かした職場で働きたい

✓「働く」「就職」「大学」「作る」「資格」「取る」「活かす」「時間」「言う」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・大学生活に限らず就職をした後も資格取得などの自己研磨を続け、いつでも自分の生活を充実させるための素材を磨いていかなければならないと考えます。
- ・資格を活かして様々なところで働いてみたい。
- ・資格を活かした仕事、高齢者や過疎地域などの困っている人の役に立ちたい。
- ・しっかり学び、資格を得ることが生活の安定に繋がるなど思う。
- ・自分のキャリアは自分で作るものだけど、支援していただけたらとても助かります。

などの、記述があった。

② 安定した収入を得て、趣味などが充実した生活を送る

✓「充実」「生活」「趣味」「送る」「得る」「収入」「安定」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・自分の趣味、私生活と仕事を両立できること。仕事をして収入を得て、自分の生活を充実し安定させることが大切。
- ・とにかく充実した生活がしたい。そのために必要な事として仕事を考えています。
- ・安定した生活を送りたい。
- ・将来的に安定した生活を送るための収入を得ることが大事である。
- ・給料は高くなくても良いが、自分が生活できるだけのお金と、趣味を十分に楽しめるお金があると良い。家庭や家族を持つことはあまり考えていない。将来的に独り身でも良いと考えている。

などの、記述があった。

③ 仕事と家庭を両立させることが大切

✓「考える」「自分」「思う」「仕事」「両立」「家庭」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・ワークライフバランスが充実した企業を選び、仕事と家庭の両立を目指したい。
- ・仕事とプライベートの両立ができる職場環境が大切だと思う。
- ・平日はバリバリ働いて、休日は自分の好きなことをしたい。

などの、記述があった。

④ 理想はあるが、現実との乖離も感じる

✓「理想」「日本」「子育て」「参加」「場所」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・安定した収入を得ながら、子育てしやすい会社が良い。
- ・子供が産まれたら仕事の量を調節しながら、子育てをしたい。夫も子育てに積極的に参加できるような形がよい。
- ・子育てや突然の怪我や病気に対して寛容な職場。
- ・子育てはする未来が理想ですが、今の日本の物価高で育てられるのか、見当もつきません。
- ・自分の目指す、理想のキャリアは実現しづらい感覚がある。
- ・仕事はお金の大小よりも、自分がやりがいを感じ長く続けられる仕事をしたいと考えている。その理想に近づけるよう頑張りたい。

などの、記述があった。

⑤ 女性が結婚・出産・育児でキャリアを諦めることなく、働けるような社会を望む

- ✓ 「働ける」「変わる」「子供」「産む」「育てる」「育児」「女性」「社会」「結婚」「キャリア」「積む」「出産」「諦める」「強い」「気持ち」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ ある程度お金を稼いで余裕のある暮らしをしたいと思う。子どもができれば育児休暇を取ることを温かく受け入れてもらえる職場に就きたいと思う。
- ・ バリバリ働きたいけど女性は将来家族を作るために、結婚育児をすることも大切。その両立が難しい。
- ・ 結婚や妊娠、出産、育児で自分のキャリアを諦めるようなことはしたくない。
- ・ でも子供を産んで育てるとどうしても働き続けたり、続けられたとしても体調を壊す未来しか見えないから、子供をあまり持ちたくない。
- ・ 子供が産まれたら仕事の量を調節しながら、子育てしたい。夫も子育てに積極的に参加できるような形がよい。

などの、記述があった。

⑥ 福利厚生の実質は重要である

- ✓ 「福利厚生」「就く」「職業」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ 働いてみて自分自身のやりたいことができているか、福利厚生など様々な点から総合的に判断をして、就業継続や転職を考えるのだろうと思う。
- ・ 福利厚生がしっかりしていて、休みもきちんと取れるような企業に就きたいです。
- ・ 地元で貢献できる仕事に就きたいと思います。福利厚生の制度が整っていると嬉しいです。
- ・ 働くならばなるべく福利厚生のしっかりした、自分でも何とかやっていけると思えるくらいの会社に就職したい。

などの、記述があった。

⑦ 給料の高さ低さについての考え

- ✓ 「高い」「欲しい」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ 裕福に生活できるくらいのお金が欲しい。
- ・ 健康で、最低限度より少し高い生活をしたいです。
- ・ 給料は高くなくても良いが、自分が生活できるだけのお金と、趣味を十分に楽しめるお金があると良い。
- ・ 自分が伸び伸びと働ける場所(心の健康が保たれる場所)であれば、高い収入でなくても構わないと思っている。
- ・ 自らのキャリアアップに努めて会社内でのより高い地位や高い収入を求める人、仕事より私生活の実質を求める人、価値観はそれぞれだと思う。

などの、記述があった。

⑧ 将来に対しての不安がある

- ✓ 「将来」「不安」「分かる」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・もうどのような職についても、つかなくても、将来生きていけるかどうか不安でならない。将来に希望を持ってない。
- ・日本は不景気な為、将来仕事に就けるのか、また仕事につけても満足いく給料がもらえないのではないかと不安に思っている。

などの、記述があった。

⑨ 転職も考えて就職する

- ✓ 「転職」「出る」「自身」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・最初に就職する場所は自分の能力を上げられる場所がいい。その後転職も考える。
- ・自分自身のキャリアを考えた時に同じ企業で長く働かなくてもいいのでは、と思うようになった。
- ・働いてみて自分自身のやりたいことができているか、福利厚生など様々な点から総合的に判断をして、就業継続や転職を考えるのだらうと思う。
- ・「絶対に転職したくない」というものがあります。そのため、「いざとなったら転職すればいい」という意見に同意できず、今の新卒採用で一生を決定したいという思いで就職活動を行いました。

などの、記述があった。

⑩ お金を稼ぐことが大事

- ✓ 「お金」「稼ぐ」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・ある程度お金を稼いで余裕のある暮らしをしたいと思う。子どもができれば育児休暇を取ることを温かく受け入れてもらえる職場に就きたいと思う。
- ・オタ活したい。稼いでお金をためて結婚する。
- ・お金を稼ぐために働くが、働きがいを重視して働きたい
- ・給料は高くなくても良いが、自分が生活できるだけのお金と、趣味を十分に楽しめるお金があると良い。家庭や家族を持つことはあまり考えていない。将来的に独り身でも良いと考えている。

などの、記述があった。

⑪ 自身のキャリアのことについて考えるのは難しい

- ✓ 「難しい」「多い」といった言葉のまとまりが見られた。
- ・キャリアについてまだそこまで考えてないので難しいです。
- ・実家から独立して暮らすことすら難しいのではと考えている。
- ・まだ働いたことがないので分からないのですが、就活はとても大変で難しく、就職しても安定してできるか不安。
- ・難しく、自分の目指す、理想のキャリアは実現しづらい感覚がある。

などの、記述があった。

「あなたのキャリア観について、どのようなことでもお書きください。」という設問で、就活生、これから就活を行う学生にとって、キャリアをどのように捉えているかについて、調査を行った。回答は自由記述形式で答えてもらい、その記述された文章をテキストマイニングを用いて解析した。その際に、どのような単語同士が関連して出現しているかを共起ネットワークを用いて可視化した。

この調査で、得られた結果により、お金やキャリアプラン、仕事とプライベートの両立など、重視しているものは個人によって異なり、様々な考えがあるのが分かる。

まずは、持っている資格を活かした職業につきたい。やりがいを重視するキャリアを望んでいる意見がみられた。

(① 大学で得た資格を活かした職場で働きたい。⑨ 転職も考えて就職する。)

安定した収入を望みつつ、働きながら趣味を充実させたい考えや、仕事と家庭とのバランスをとるなどの、ワークライフバランスを重視する考え方がとても多く見られた。

(② 安定した収入を得て、趣味などが充実した生活を送る。③ 仕事と家庭を両立させることが大切。)

他にも、多くのお金を稼いだり、福利厚生が充実した職場で働くことを望む、金銭的な面を重視する考えも多く見られている。

(⑥ 福利厚生の実質は重要である。⑦ 給料の高さ低さについての考え。⑩ お金を稼ぐことが大事。)

また、女性の社会進出を望む声や、出産・育児によってキャリアを諦めたくないとの気持ちも、多く見られた。

(⑤ 女性が結婚・出産・育児でキャリアを諦めることなく、働けるような社会を望む。)

他には、今後の見通しを立てることの困難さや漠然とした将来への不安、理想と現実のギャップに悩む学生の意見もあった。

(④ 理想はあるが、現実との乖離も感じる。⑧ 将来に対しての不安がある。⑪ 自身のキャリアのことについて考えるのは難しい。)

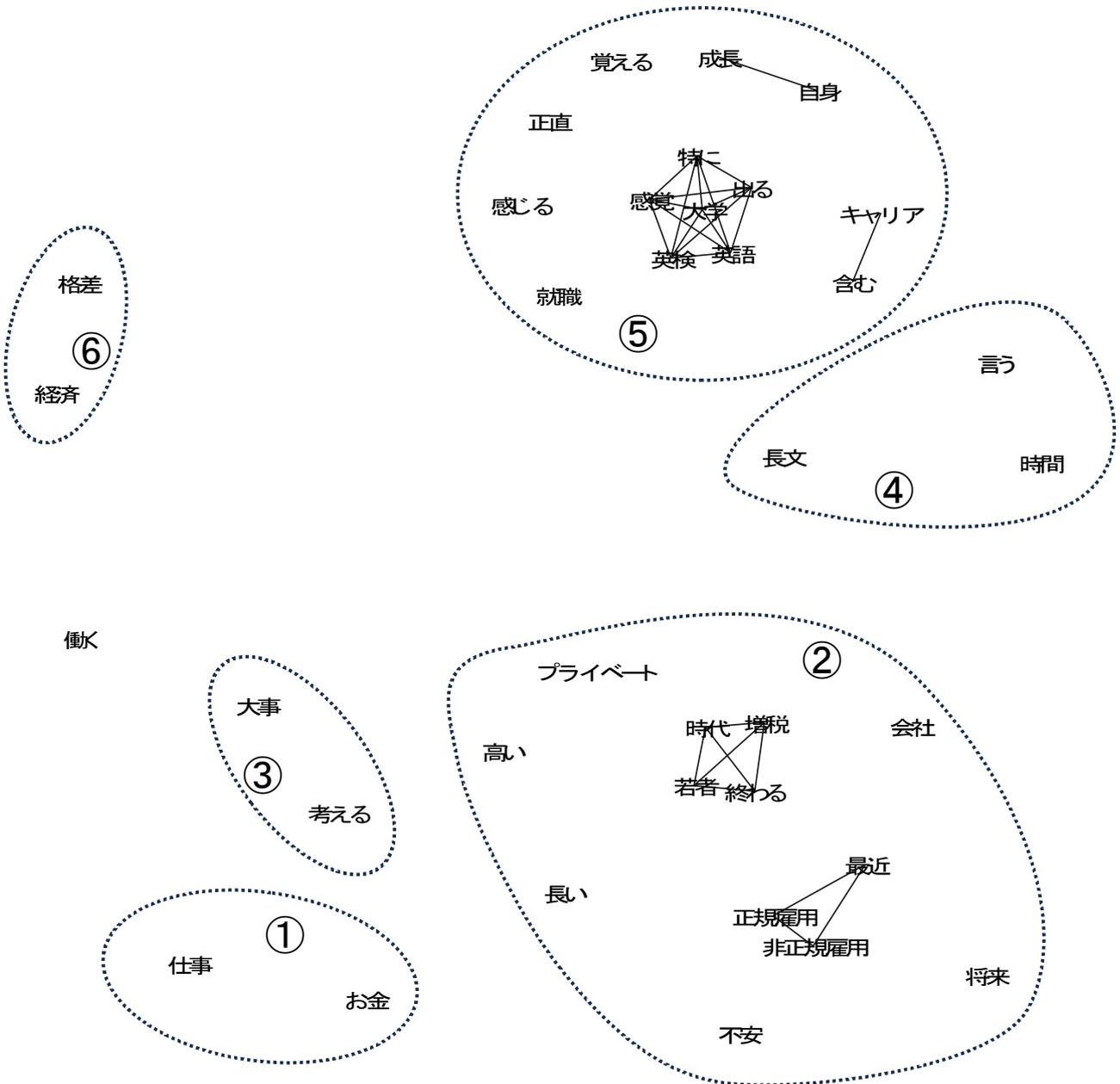
Table 6

男性回答者における抽出語のリスト（上位50位まで）

| 抽出語 | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 |
|------|------|--------|------|-------|------|
| 思う | 12 | 大事 | 3 | 最近 | 2 |
| 自分 | 10 | 大切 | 3 | 持つ | 2 |
| 働く | 10 | 目指す | 3 | 時代 | 2 |
| 仕事 | 9 | プライベート | 2 | 自身 | 2 |
| 言う | 6 | 安定 | 2 | 若者 | 2 |
| 考える | 4 | 英検 | 2 | 就職 | 2 |
| 時間 | 4 | 英語 | 2 | 終わる | 2 |
| 将来 | 4 | 会社 | 2 | 出る | 2 |
| 大学 | 4 | 覚える | 2 | 成長 | 2 |
| 不安 | 4 | 感じる | 2 | 正規雇用 | 2 |
| お金 | 3 | 感覚 | 2 | 正直 | 2 |
| キャリア | 3 | 環境 | 2 | 増税 | 2 |
| 格差 | 3 | 含む | 2 | 長い | 2 |
| 企業 | 3 | 頑張る | 2 | 長文 | 2 |
| 好き | 3 | 経験 | 2 | 特に | 2 |
| 高い | 3 | 経済 | 2 | 非正規雇用 | 2 |
| 生活 | 3 | 向上心 | 2 | | |

Figure 31

男性回答者の自由記述文における語句の共起ネットワーク



男性回答者の自由記述のコメントに対して、共起ネットワークの解析を行った結果、6の関連する語句のグループ（クラスター）が描出された。

① 仕事をして、お金を稼ぐ

✓「仕事」「お金」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・仕事とは、ただのお金稼ぎの手段だけではなく、良質な人生を生きるために無理なくやるものという認識を持っています。
- ・仕事はお金の大小よりも、自分がやりがいを感じ長く続けられる仕事をしたいと考えている。その理想に近づけるよう頑張りたい。

などの、記述があった。

② 社会情勢や雇用形態による将来に対する不安がある

✓「プライベート」「高い」「時代」「増税」「会社」「若者」「終わる」「正規雇用」「非正規雇用」「最近」「将来」「長い」「不安」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・「正規雇用と非正規雇用の経済格差が広がっている」というニュースを最近耳にするので、将来が不安である。
- ・仕事とプライベートが両立できることを大事にしたいと考えている。平日はバリバリ働いて、休日は自分の好きなことをしたい。
- ・男性の子育てへの参加、それに対する就業中断の支援がこの先どれくらい充実するか不安である。そこが改善されなければジェンダー格差はなくならないと思う。
- ・何をやってもうまくいかないような私のような人でも、安心して安定した職につくことができるような社会の雰囲気やルールができればいいなと思います。

などの、記述があった。

③ 大事であると考えていること

✓「大事」「考える」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・「この人じゃないとダメ」、「この人なら頼れる」と思われるような人材になることを目指す。そのためには、日々努力し、更に高みを目指そうという向上心をもって働くことが大事だと考える
- ・仕事とプライベートが両立できることを大事にしたいと考えている。
- ・仕事はお金の大小よりも、自分がやりがいを感じ長く続けられる仕事をしたいと考えている。その理想に近づけるよう頑張りたい。

などの、記述があった。

④ 時間の大切さ

✓「言う」「時間」「長文」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・簡単なものでなく、時間が必要であれば、何年かけてでも自己開発し、目指すべき。
- ・自分の時間を大事に出来ないのと、プライベートを明け渡してまで仕事に囚われたくありません。

などの、記述があった。

⑤ 自身の成長のためにキャリアを考える

✓「自身」「成長」「覚える」「正直」「感じる」「就職」「特に」「感覚」「出る」「大学」「英検」「英語」「キャリア」「含む」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・よく大学を出たら(就職に)いいとかは言われますが、「大学卒業が就職に有利になる」からとりあえず学業をこなしている感覚です。正直特に知識や技能面に成長は感じられません。故に、キャリア作りに学歴はあまり関係ない気がします。
- ・自身が成長できる環境が重要。
- ・とにかく専門的な事を覚え会社の役に立つ。
- ・自分で納得のできる就職がしたい。

などの、記述があった。

⑥ 経済的格差が気になる

✓「格差」「経済」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・経済的な格差は何かを発展させるうえで仕方のないことであるため、自分の向上心と野心を保ち、常にスキルアップ、キャリアアップに努めたい。

などの、記述があった。

Table 7

女性回答者における抽出語のリスト (上位50位まで)

| 抽出語 | 出現回数 |
|------|------|
| 仕事 | 84 |
| 自分 | 75 |
| 思う | 70 |
| 働く | 69 |
| 考える | 37 |
| 就職 | 34 |
| 大切 | 29 |
| キャリア | 24 |
| 将来 | 24 |
| 安定 | 22 |
| 社会 | 19 |
| 職場 | 18 |
| 生活 | 18 |
| 不安 | 18 |
| 充実 | 17 |
| お金 | 16 |
| 感じる | 16 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|------------|------|
| 就く | 16 |
| 両立 | 16 |
| 家庭 | 15 |
| 楽しい | 15 |
| 今 | 13 |
| 女性 | 13 |
| 生きる | 13 |
| 続ける | 13 |
| 環境 | 12 |
| 結婚 | 12 |
| 収入 | 12 |
| 働ける | 12 |
| ワークライフバランス | 11 |
| 子供 | 11 |
| 資格 | 11 |
| 趣味 | 11 |
| 職業 | 11 |

| 抽出語 | 出現回数 |
|--------|------|
| 福利厚生 | 11 |
| 持つ | 10 |
| プライベート | 9 |
| 子育て | 9 |
| 時間 | 9 |
| 大学 | 9 |
| 良い | 9 |
| 稼ぐ | 8 |
| 企業 | 8 |
| 気持ち | 8 |
| 産む | 8 |
| 自身 | 8 |
| 出産 | 8 |
| 出来る | 8 |
| 人間関係 | 8 |
| 大事 | 8 |

① 家庭と仕事の両立が大切だと考える

✓「思う」「自分」「大切」「考える」「働く」「仕事」「就職」「両立」「家庭」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・どの職に就いても、自分らしく生きていけることを大切にしたい。
- ・20代の間には結婚、出産をしたいという希望があるので、ワークライフバランスを大切にしたい。また、それまでに復帰するのに困らないくらいのキャリアも積みたい。
- ・就職しても、仕事ではやりがいを感じながら働き、休日などは友人たちと楽しく過ごしたり趣味をしたりするようにワークライフバランスを大切にしたいです。
- ・ワークライフバランスが充実した企業を選び、仕事と家庭の両立を目指したい。

などの、記述があった。

② 安定した収入を得て、私生活や趣味を充実させる

✓「格差」「安定」「収入」「得る」「充実」「生活」「私生活」「趣味」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・安定した収入と休日を確保する。
- ・仕事と私生活を両立することができ、特に私生活を充実させることのできる職場がいい。
- ・仕事人間になりたい訳ではなく、健康第一に、ワークライフバランスで趣味にも全力投球でありたい。
- ・趣味との両立を目指しつつ仕事をしたい。

などの、記述があった。

③ 結婚出産をしても、育児をしながら働ける社会や職業を望む

✓「職業」「産む」「育てる」「子供」「育児」「働ける」「強い」「気持ち」「女性」「結婚」「出産」「キャリア」「社会」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・20代の間には結婚、出産をしたいという希望があるので、ワークライフバランスを大切にしたい。また、それまでに復帰するのに困らないくらいのキャリアも積みたい。
- ・結婚や出産、介護を経ても離職せずキャリアを積み続けたい。
- ・結婚や妊娠、出産、育児で自分のキャリアを諦めるようなことはしたくない。

などの、記述があった。

④ 大学で得た資格を活かした職場で働きたい

✓「大学」「資格」「取る」「活かす」「時間」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・しっかり学び、資格を得ることが生活の安定に繋がると思う。
- ・資格を活かした仕事、高齢者や過疎地域などの困っている人の役に立ちたい。
- ・資格を取得して、専門性の高い職業を将来的に継続して行きたいと考えています。
- ・就業してからも資格の勉強や自己啓発などの自己研鑽に臨んでいきたいです。

などの、記述があった。

⑤ 家庭を持つことと暮らしとの関係

✓「持つ」「暮らし」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・ある程度お金を稼いで余裕のある暮らしをしたいと思う。子どもができれば育児休暇を取ることを温かく受け入れてもらえる職場に就きたいと思う。
- ・家庭や家族を持つことはあまり考えていない。将来的に独り身でも良いと考えている。
- ・私は家庭を持ちたいという気持ちはそこまで強くなく、それよりは、1人でも生きていけるような経済力が欲しいと思っている。

などの、記述があった。

⑥ 福利厚生が充実した職業に就く

✓「福利厚生」「就く」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・福利厚生がしっかりしていて、休みもきちんと取れるような企業に就きたいです。
- ・地元で貢献できる仕事に就きたいと思います。福利厚生の制度が整っていると嬉しいです。
- ・福利厚生がしっかりしているところが魅力的。

などの、記述があった。

⑦ プライベートと仕事のバランスを重視している

✓「職場」「環境」「プライベート」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・プライベートと仕事のバランスが取りやすい環境を作りたいです。
- ・仕事とプライベートの両立ができる職場環境が大切だと思う。
- ・ワークライフバランスが整う環境に身を置きたい。

などの、記述があった。

⑧ お金を稼ぐのに無理はしない

✓「お金」「稼ぐ」「無理」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・心身健康でいられるよう、無理はしない。でも生活ができて、時々贅沢したり趣味に費やせるくらいのお金を稼ぎたい。
- ・心が無理なく働けることが1番大切だと思います。
- ・食べていくためにはお金を稼ぐことも大切だが、辛いことがあっても無理に我慢せず、体調や自分の理想を優先的に考えるべきだ。

などの、記述があった。

⑨ 将来への不安がある

✓「将来」「不安」「分かる」といった言葉のまとまりが見られた。

- ・就職して充実した生活ができるか分からなくて将来の姿が思い描けない。
- ・家庭に献身的でありたいと思うと同時にしっかりと働きたい気持ちもあってなかなか将来が漠然としているため不安ばかり募ります。
- ・もうどのような職についても、つかなくても、将来生きていけるかどうか不安でならない。将来に希望を持ってない。

などの、記述があった。

⑩ 転職も考えて就職する

- ✓ 「自身」出る」「転職」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・稼げて余裕ができれば他のことに挑戦したり、転職もあり。
 - ・近年は転職という形をとる人も多く、自分自身のキャリアを考えた時に同じ企業で長く働かなくてもいいのでは、と思うようになった。
 - ・最初に就職する場所は自分の能力を上げられる場所がいい。その後転職も考える。
- などの、記述があった。

⑪ 日本で子育てすることに対する不安

- ✓ 「日本」「子育て」「理想」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・子育てはする未来が理想ですが、今の日本の物価高で育てられるのか、見当もつきません。
 - ・結婚・子育てを考える以前に今後の社会がどうなるか、日本が国際社会で生き残っていくのか、現状の社会課題(少子高齢化や政治、賃金など)を見ていて、人生を考えた時に半分は諦めが占めています。
 - ・今の日本は不景気な為、将来仕事に就けるのか、また仕事につけても満足のいく給料がもらえないのではないかと不安に思っている。
- などの、記述があった。

⑫ 就職後のキャリアプランには難しいことが多い

- ✓ 「多い」「難しい」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・難しく、自分の目指す、理想のキャリアは実現しづらい感覚がある。
 - ・選択肢があまり多いイメージがない。
 - ・実家から独立して暮らすことすら難しいのではと考えている。
 - ・就活はとても大変で難しく、就職しても安定してできるか不安。
- などの、記述があった。

⑬ 健康でいることの重要性

- ✓ 「高い」「健康」といった言葉のまとまりが見られた。
 - ・精神的・肉体的に健康であることが最も重要なことだと考えています。
 - ・自分が伸び伸びと働ける場所(心の健康が保たれる場所)であれば、高い収入でなくても構わないと思っている。
 - ・健康で、最低限度より少し高い生活をしたいです。
 - ・心身健康でいられるよう、無理はしない。でも生活ができて、時々贅沢したり趣味に費やせるくらいのお金を稼ぎたい。
- などの、記述があった。

男性と女性の自由記述の内容について違いが見られたものには、以下のようなものがあった。

男性で特に見られた意見は、⑦ 経済的格差が気になる。などの、正規雇用・非正規雇用によるものや、企業の違いによって生じる格差についての意見があった。このような意見は、こうした格差をバネに自身のキャリアアップにつなげようという、意欲も見られるものであった。また、① 仕事をし、お金を稼ぐ。⑤自身の成長のためにキャリアを考える。④ 時間の大切さ。など、やりがいの重視、自己を成長させることの重要性やそのために時間をかけることを厭わないという意見がいくつかあることが見てとれた。

一方女性では、② 安定した収入を得て、私生活や趣味を充実させる。⑦ プライベートと仕事のバランスを重視している。などの意見が多く、仕事だけではなく、特に趣味に関する私生活を充実させたい願望や、仕事とプライベートを完全に切り離し、それらのバランスを上手くとりながら、キャリアを築いて行こうと考えていることが見て取れる。また、⑧ お金を稼ぐのに無理はしない。⑬ 健康でいることの重要性。についての意見があり、きちんと働いてお金を稼ぐことは重要だが、そのために健康を損ねるようであれば、意味がない。無理なく仕事を続けられることが重要だと考えている意見が多く見られた。男性とは異なり、お金を稼ぐ、キャリアアップというものに対しては割とコンサバティブな考え方が強く、健康や生活を重視するという意見が目立っていた。言い換えれば、男性は積極的にスキルアップや資格を取ることで、高い地位や給料を目指していることが示されている。

男女で共通しているキャリア観としては、以下のようなものがあった。「家庭と仕事の両立が大切だと考える」「結婚出産をしても、育児をしながら働ける社会や職業を望む」「家庭を持つことと暮らしとの関係」などの、結婚、出産をしたいという希望のために、ワークライフバランスを大切にしながらキャリアを築きたい。そして、育児などから復帰するのに困らないくらいのキャリアも積みたいとの考えや、結婚や妊娠、出産、育児で自分のキャリアを諦めるようなことはしたくないとの意見が多く見られた。また、「将来への不安がある」「日本で子育てすることに対する不安」「就職後のキャリアプランには難しいことが多い」といった、就職後の充実した生活が思い描けない、将来に希望を持ってない、仕事につけても満足いく給料がもらえないのではないかと不安など、将来に対する不安が現れているようなキャリア観を持っていることが明らかになった。

若者のキャリア観に関する調査

安田女子大学心理学部現代心理学科
准教授 齋藤 大輔

2012年の調査結果と比較することで、若者の意識の変化が明らかになった。全体の3/4の学生が何があっても就職したいと考える一方で、「働く意味」や「希望する職種」が時代とともに変化していることが浮かび上がった。特に、雇用の安定を求める学生が公的機関への就職を希望する一方で、デジタルメディアの台頭により情報・インターネット業界への就職希望が増加している。また、「家族・親のため働く」意識が減少し、自分の生活を支えることや趣味に時間を捧げることを重視する傾向も見られた。さらに、就職活動におけるインターネットの情報に対する見方も変化し、企業の建前ではなく実際の声や本音を求めるニーズが増えている。これらの変化は時代や経済の影響を受けていると考えられ、企業や大学はこれに対応するための支援が求められている。

今回の調査は、現代の若者（大学生）が就業に関してどのように考え、どのようなキャリアプランを描いているかを探り、男女共同参画の視点からも当事者の考えや思いを捉え、課題解決の方向を見出す手がかりを得ることを目的として行った。また、2012年の調査と比較できるように、同じ質問項目を使用して直接比較できるデータを収集するとともに、近年注目されている長期人生プランやジェンダー格差などのトピックについても調査を行った。さらに、Google Formを使用したウェブ調査を行うことで、多くの学生に回答してもらいやすくなったこと、自由記述の項目に記入された文章をテキストマイニングという手法で解析できるようになったことが特徴としてあげられる。この手法は、自由記述の文章を自然言語処理技術を用いて分析し、有益な情報を取り出すことができるため、意見の集約や主観の影響を受けにくい解析が可能となっている。しかし残念ながら、今回の調査では協力してくれた学生の学部や性別の偏りがあった。回答を詳細に分類して結論を出すことが難しかったが、多くの学生からの回答があり、就活に臨む当事者の考えや思いを十分に見ることができた。

調査結果から印象的だったのは、現代の若者（大学生）が持つ考え方に、「安定性重視」「趣味の活動重視」「余暇の優先」「広島での就業意欲低下」といった傾向があることだった。また、男女間での考え方には差異が見られた。

安定性重視の面については、就職先を選ぶ基準に「業種職種」よりも、「安定性」「将来性」「雰囲気の良い」を重視する傾向が見られた。また、起業や転職よりも長期的な勤務を希望する学生も増えていることが示された。

その他にも、趣味や余暇を重視する学生が増えており、個々の幸福や自己実現が重視される傾向がみられている。このことは、多様な働き方・生き方を選べるワークライフバランス社会の実現に向けた、国や地方公共団体、企業、働く人々が一体となって取り組んだ成果であることも考えられ、身体的・精神的な健康を維持すること、生産性やクリエイティビティを向上させること、離職率を低下させること

に大きく関与していくものと考えられる。こうしたなかで、休暇の取りやすさや福利厚生を重視する傾向も強くなっており、休暇や福利厚生の充実・強化を行うことや、安定性、将来性を効果的にアピールすることが、積極的な就職活動を促すために重要ではないかと考えられる。

広島での就業意欲が低下していることは、「転出超過数は広島県が最も多く、最も拡大している」という総務省統計局の2023年の調査結果とも一致している。この課題に対処するためには、学生の就業に対する意識の変化を反映した、きめ細かな対応が求められている。

他には、男女間での就業に対する意識が異なるため、就活のサポートもそれぞれの意識に合った方法に変える必要があると思われる。例えば、男子学生は就職先を選ぶ際に、「専門能力の育成」、「総合的・管理的な仕事」、「創造性やチャレンジ精神が認められる」といったことを重視する傾向があり、キャリアプランにおいても、「伴侶を得る」「子どもを持つ」「組織の中の高い地位を目指す」「仕事以外に社会的意義のある活動をする」「生涯学習、自己研鑽」を重視している。このことは、学習意欲の高さと自身の継続的な成長を求めており、問題解決能力やリーダーシップを発揮することや、挑戦と成果を出すことへの強い意欲をもつことを示している。また、キャリア継続のためには、「趣味や活動の交流会」、「広島の経済・社会などの情報を知る講座」、「起業や新しい動きについて知る講座」、「健康や病気についての情報講座」が役立つだろうと考えており、自己の成長、地域や社会への関心、起業やイノベーションへの興味が高く、「新しい人との出会いやネットワークの構築を重視」している姿勢が読み取れた。

それに対して女子学生は、就職先を選ぶ際に「安定志向」「ルーチンワークを好む」「協調性の重視」「リスク回避」などを重視する傾向があり、キャリアプランにおいても、「組織の中の高い地位を目指す」「政治に関心を持つ」ことが特に低いという特徴が見られた。またキャリア継続のためにも、「定型的生活スタイルを好むこと」、「変化を避ける傾向」、「地域の経済や社会に関する情報や動向について深く考えるよりも、自己の興味や関心に集中する傾向」があることが見られた。これらのことは女子学生の、社会的な地位や権力よりも「自己満足や充実感を追求」する傾向や、出世や政治的な力を得ることよりも、「他人や社会全体のために何かを成し遂げたい」と考えていること、物質的な成功よりも「精神的な豊かさを重視」し、そのための行動を優先することを反映しており、男女の意識の違いが明確になった。そのため、こうした性差を見据えた支援やプログラムを、国や地方公共団体、企業が用意することで、就職活動やキャリア継続をスムーズに行うことができるようになると考えられる。また女性は、子育てや介護の支援に強い不安を感じていることや、「就職活動ではジェンダー格差がなく平等」、「女性の育児家事などによる就業中断はやむを得ない」、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」とは思っていないことが明らかになり、就活やキャリアプランに関するジェンダー格差をまだ強く感じていることが示された。そのため、こうしたジェンダー格差の是正に向けた行動を企業や社会に求め続けていく必要性が感じられる。

男女関係なく得られた意見としては、「女性が結婚・出産・育児でキャリアを諦めることなく、働けるような社会」を望む意見が見られ、女性だけでなく男性も、就活や就業に対して、平等な機会と待遇を求めていることが示された。また、多くの女性は自分自身の価値や能力を発揮し、社会で活躍したいと願っており、結婚や出産が自己実現の妨げになるのではなく、家庭と仕事の両立が可能である社会を求めていることが明らかとなった。

今回の調査では、就職活動に対して受け身の姿勢を持つ意見が多く見られた。これは、就活を終えた大学4年生だけでなく、これから就活を控えている大学1年生から3年生までの学生からも広く回答を求めたために、ある程度仕方がないのかもしれない。自身の将来像やキャリアゴールが定まっておらず、漠然とした状態であるためか、就職活動に対してどこか他人任せであり、行動に対する責任をとりたくないともとれる姿勢が見え隠れしているように感じられる。しかしこれは、昨今の大学生の特徴でもあると考えられることから、時代に合わせて、大学や企業のキャリアサポートも、就活に対する実際の作法やスキルもさることながら、就活に望む心構えや根本的な考え方をしっかり根付かせるほうが良いのではないかと思われる。そして、こうした特徴をもつ学生に効果的にアプローチすることで就職活動を推し進めることができるのではないかと考える。

今回の調査結果が、すべての就活生の気持ちや意識を反映させたものではないが、得られたデータをもとに就活支援を行うことで、現在の広島が抱える転出超過などの諸問題にも対処できる可能性がある。それとともに、学生と企業の両方がメリットを得られる就活支援を実現できるようになることを期待している。

齋藤 大輔

安田女子大学心理学部現代心理学科 准教授

<略歴>

1996年 徳島大学卒業、金沢大学 子どものこころの発達研究センターなどを経て、2020年4月から現職。

<主な研究テーマ>

神経心理学的手法を用いた、脳機能の調査。現在は主に、子どもを対象とした認知機能と脳機能との関係や、心理検査の神経基盤などの解明に取り組んでいる。

■発行

令和6（2024）年3月

■発行元



〒730-0051

広島市中区大手町5丁目6番9号

TEL：082-248-3320 FAX：082-248-4476

URL：<https://www.yui-port.city.hiroshima.jp/>



■スーパーバイザー

齋藤 大輔（安田女子大学心理学部現代心理学科 准教授）

■協力

安田女子大学 学生のみなさま

本報告書の文章・画像等の無断転載及び複製等をご遠慮ください。